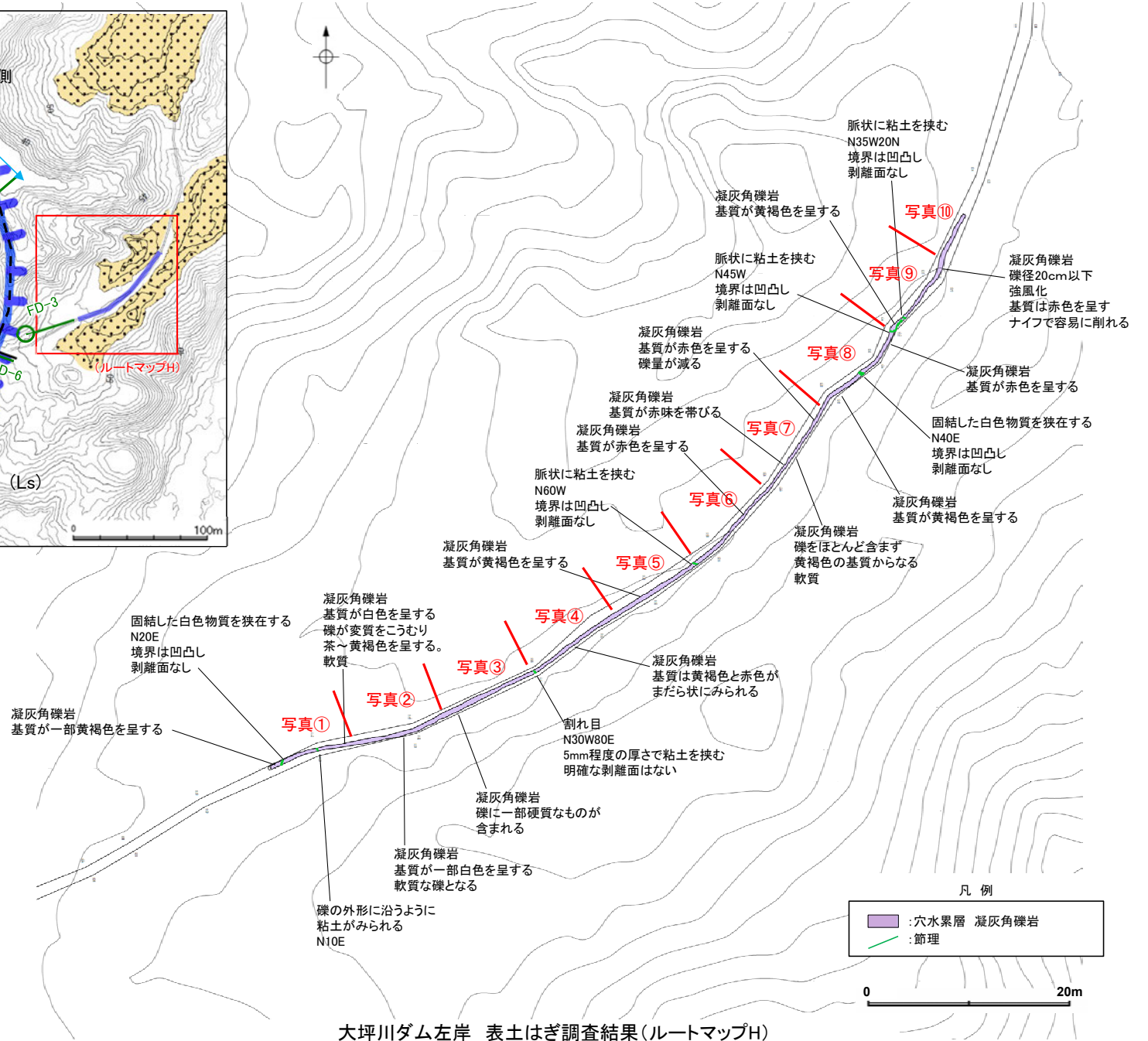


位置図



大坪川ダム左岸 表土はぎ調査結果(ルートマップH)

- ・ルートマップHにおける表土はぎ調査の結果、福浦断層に対応する断層は認められない。
- ・また、活断層研究会(1991)が示した活断層の推定位置にあたる谷地形の延長位置にも断層は認められない。

←SW

NE→



写真①



写真②



写真③



写真④

←SW

NE→



写真⑤



写真⑥



写真⑦



写真⑧

←SW

NE→



写真⑨

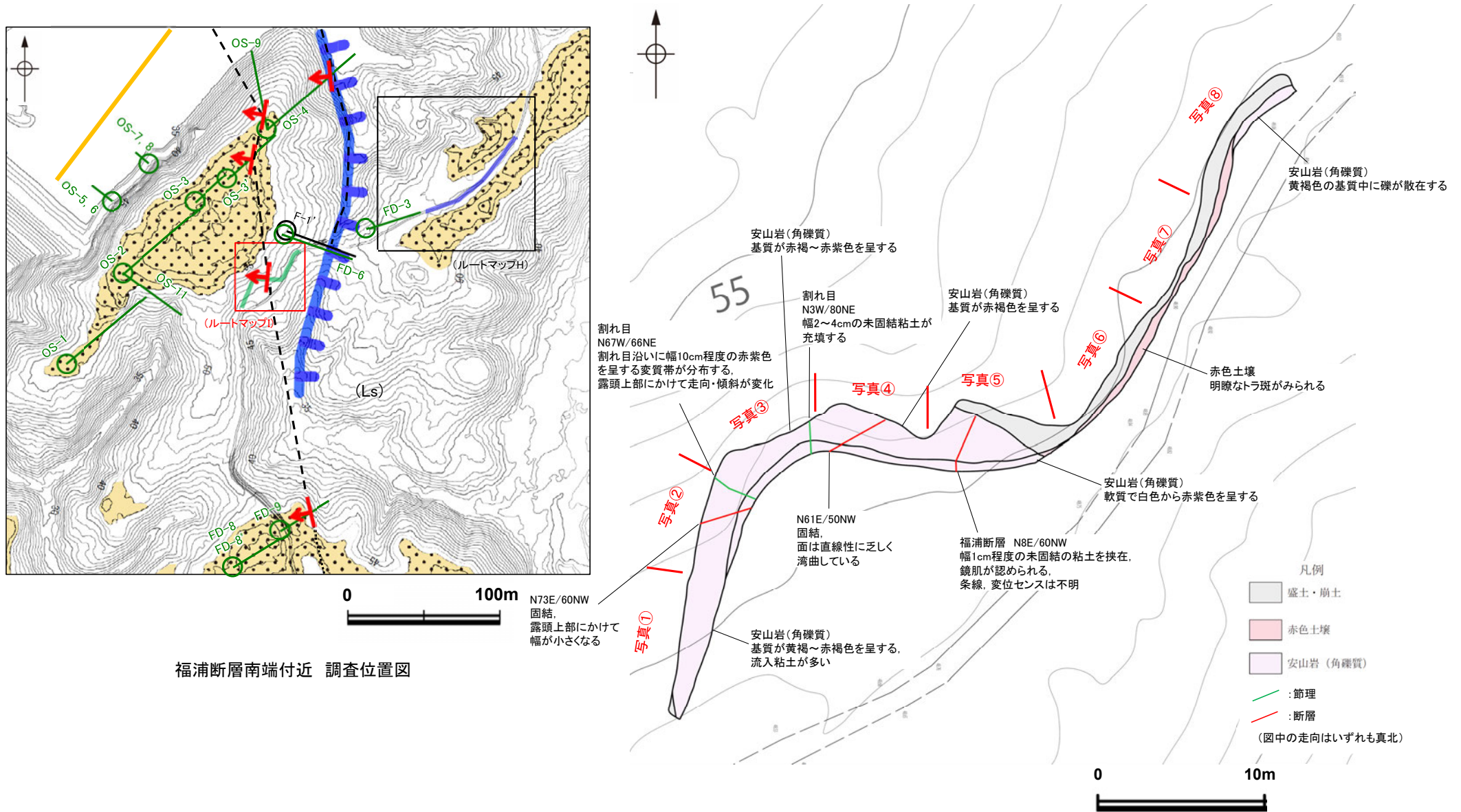


写真⑩

---

## (6)-2 ルートマップI

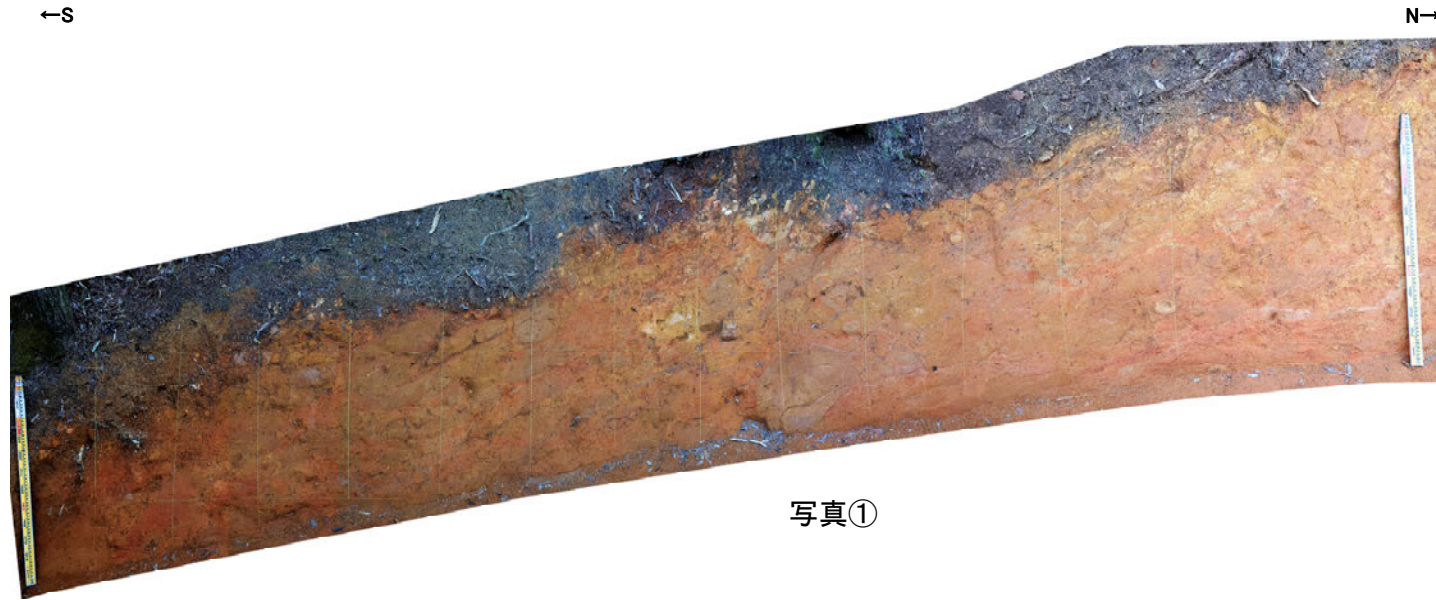
# 大坪川ダム左岸 表土はぎ調査 ルートマップI 写真位置図



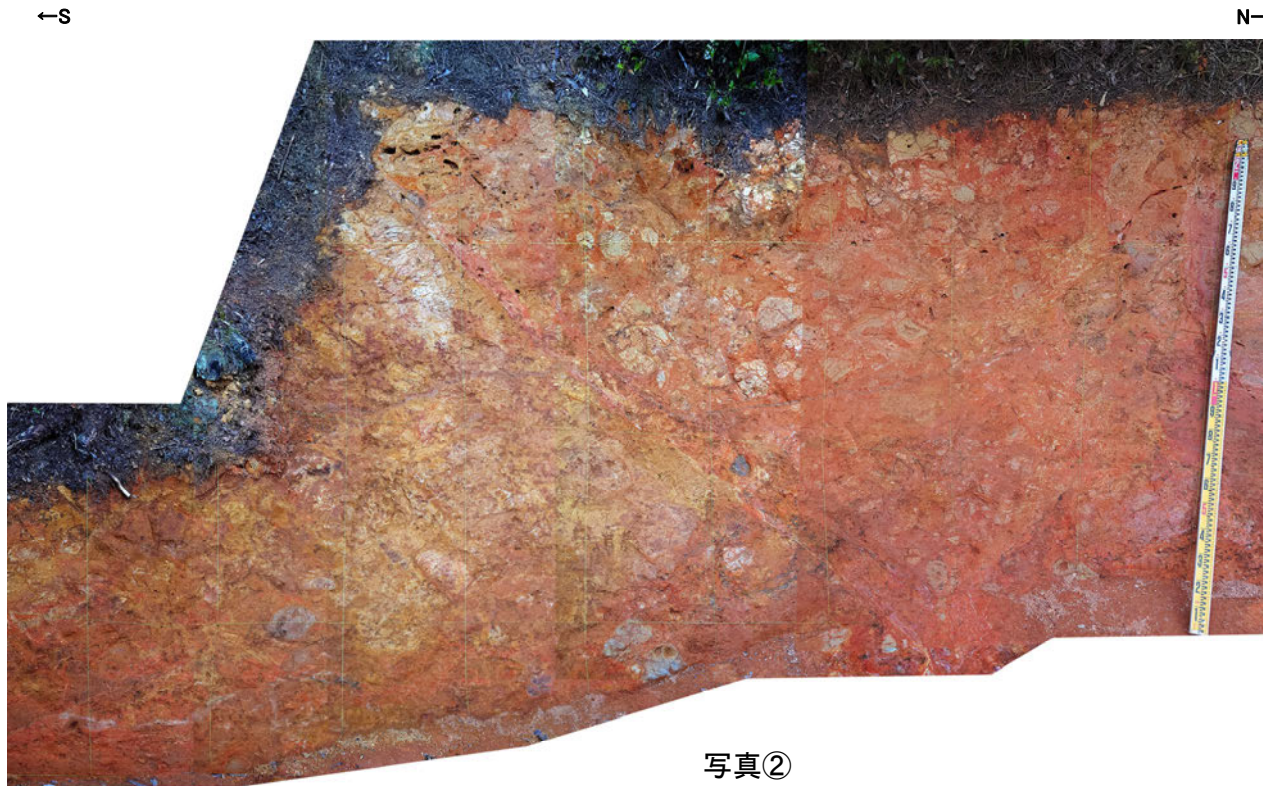
大坪川左岸 表土はぎ調査結果(ルートマップI)

- ・ルートマップIにおける表土はぎ調査の結果、福浦断層南部の西側リニアメント・変動地形のほぼ延長位置に、福浦断層と走向傾斜が調和的な断層が認められた。
- ・なお、福浦断層の西側に分布する断層は固結しており、隣接孔(FD-6孔)に対応する破碎部は認められず、連続性に乏しいことを確認している。

# 大坪川ダム左岸 表土はぎ調査 ルートマップI 写真①～②



写真①

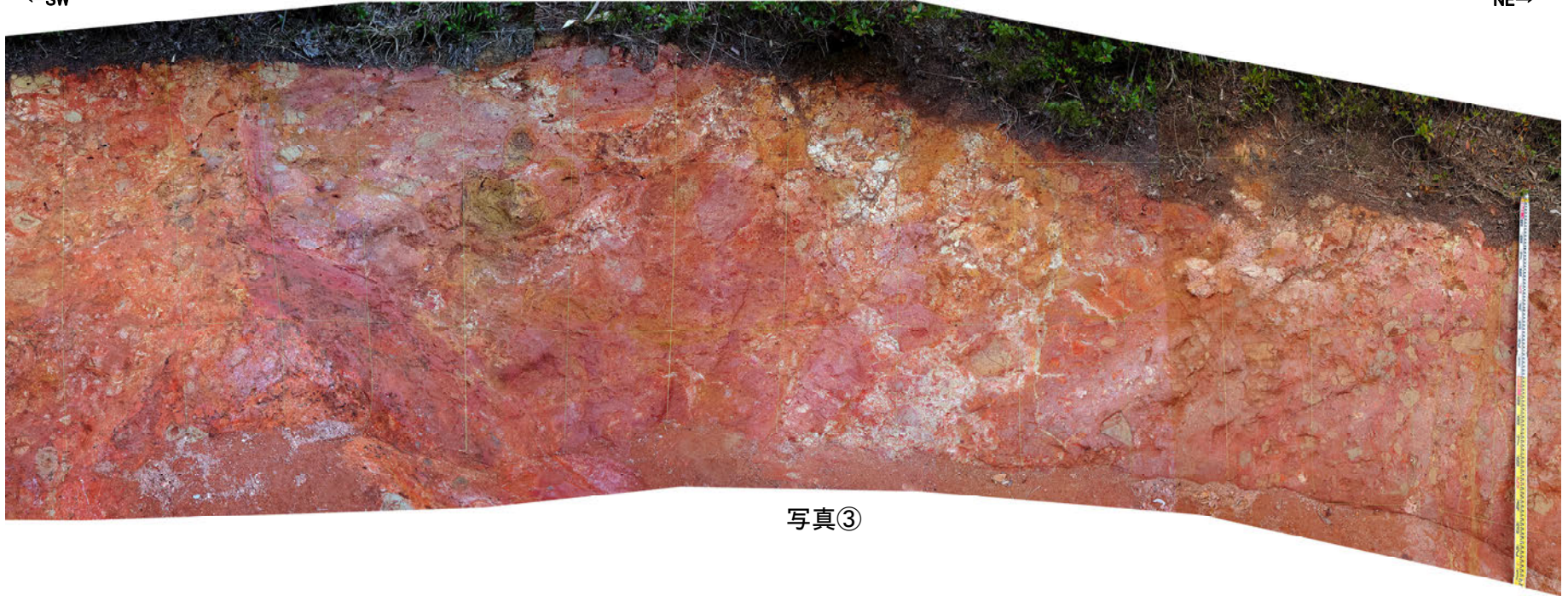


写真②

# 大坪川ダム左岸 表土はぎ調査 ルートマップI 写真③～④

←SW

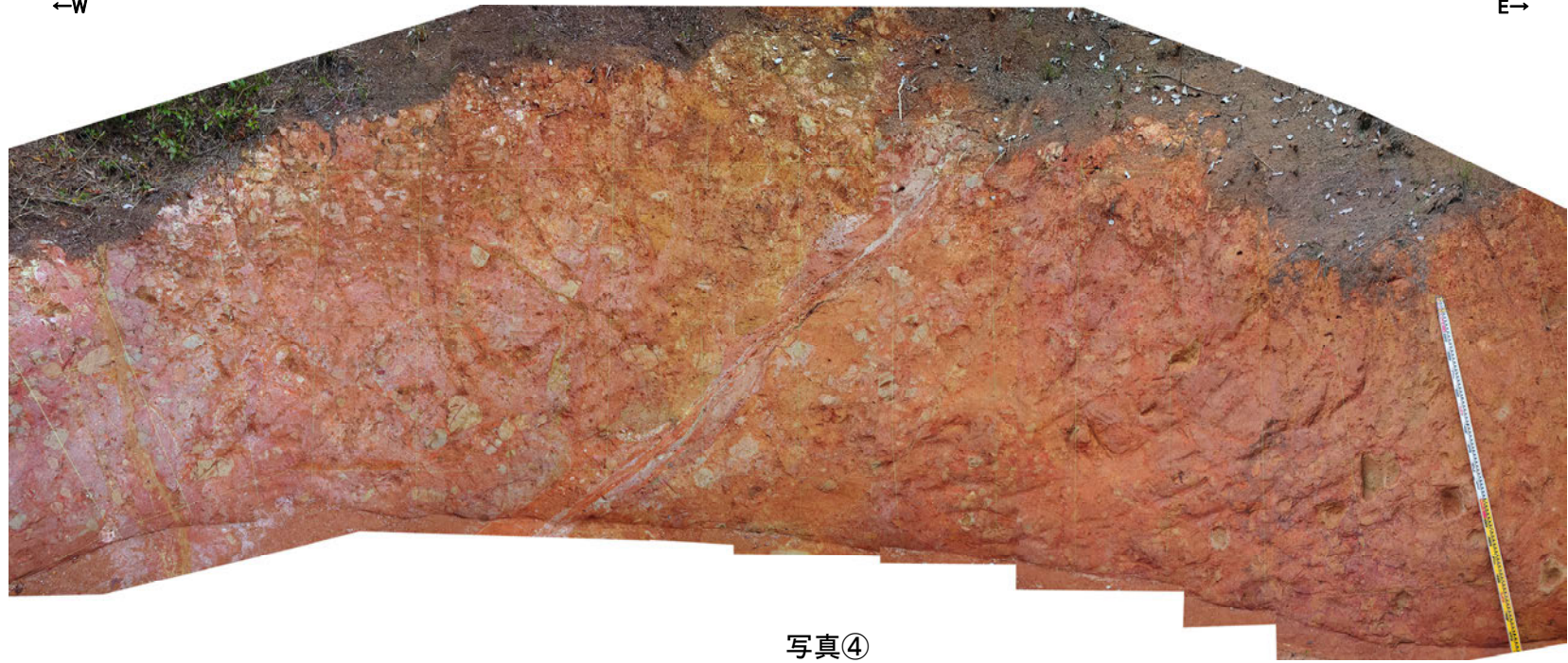
NE→



写真③

←W

E→



写真④



# 大坪川ダム左岸 表土はぎ調査 ルートマップI 写真⑤～⑥



写真⑤



写真⑥

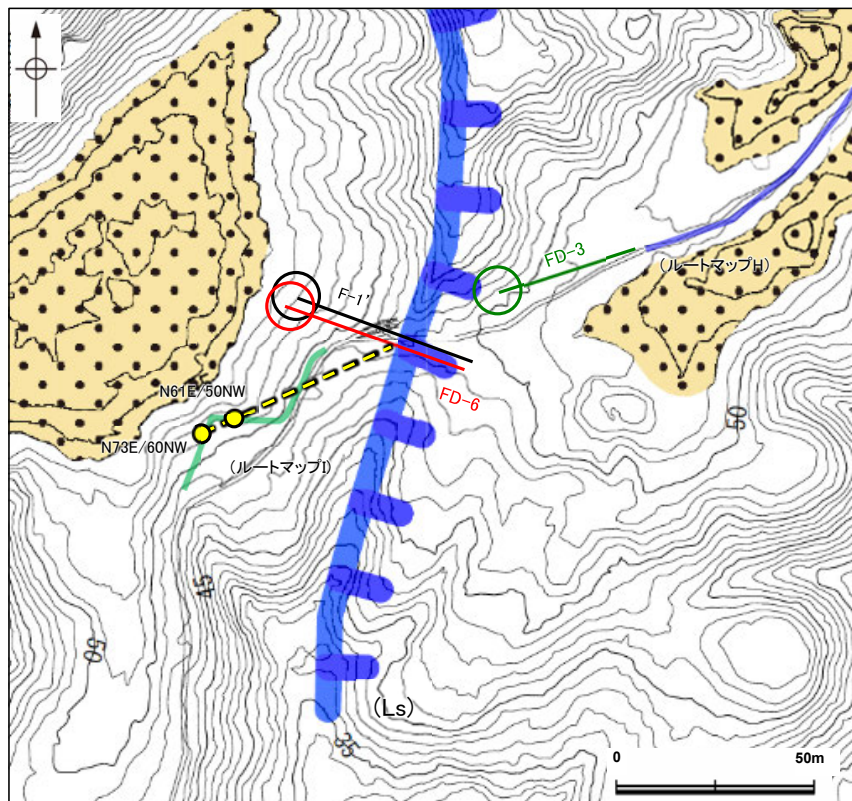


写真⑦

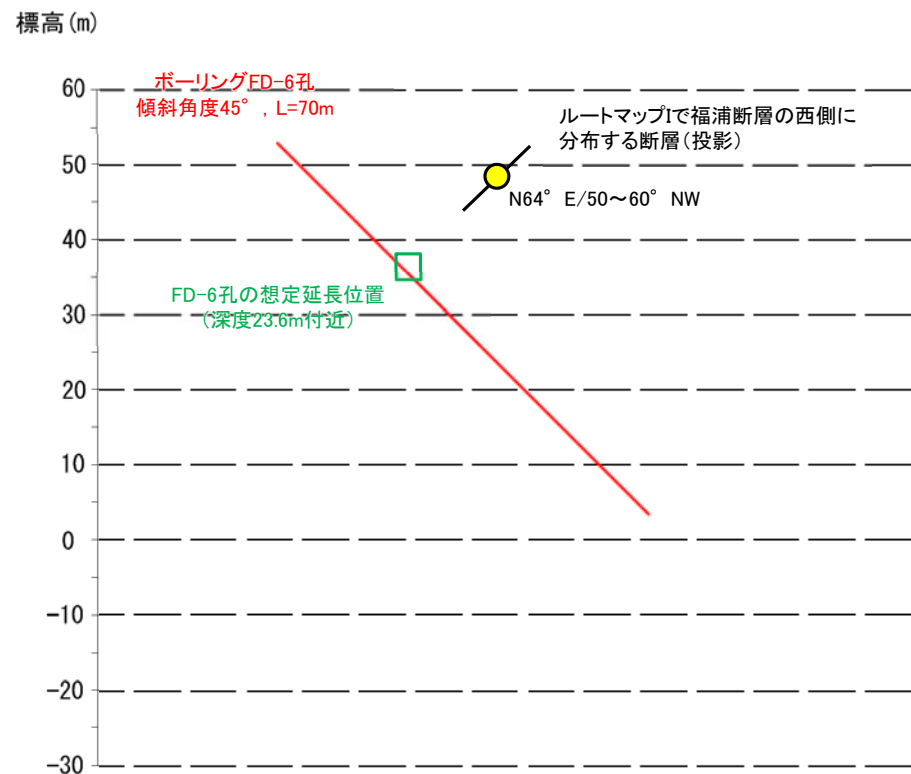


写真⑧

# 大坪川ダム左岸 表土はぎ調査 ルートマップI 福浦断層以外の断層の連続性確認



ルートマップ付近 調査位置図



断面図

隣接孔 (FD-6孔) の想定延長位置 (23.6m付近) に対応する破砕部が認められない。

---

余白

---

## (7) 福浦断層以外の破碎部の連続性確認

# 福浦断層以外の破砕部の連続性確認

○大坪川ダム左岸付近の福浦断層南部の分布を把握するためのボーリング調査において、福浦断層に対応しないと評価した破砕部の検討結果について、以下に示す。

- ・福浦断層と走向・傾斜が対応する破砕部は □ で示す。
- ・福浦断層と走向・傾斜が対応しない破砕部のうち、未固結な破砕部を伴うものについても、連続性の検討を行った。

## 【福浦断層以外の破砕部性状一覧①】

OS-1							
No.	確認深度 (m)	標高 (m)	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	粘土状破砕部の幅 (cm)	砂状・角礫状破砕部の幅 (cm)	福浦断層に対応しないと判断した根拠
1	11.94~11.96	EL 43.25~43.23	測定区間外	2.0	—	—	性状が福浦断層と異なる。
2	17.19~17.20	EL 39.53~39.53	N74W/20NE	1.9	—	—	走向・傾斜, 性状が福浦断層と異なる。
3	33.61~33.63	EL 27.92~27.91	N17E/61NW	2.1	0.1	—	隣接孔 (OS-2孔 0.0~19.9m) に連続しない。
4	41.93~41.95	EL 22.04~22.03	N49W/9SW	1.9	—	—	走向・傾斜, 性状が福浦断層と異なる。
5	42.04~42.06	EL 21.96~21.95	N1W/21SW	3.6	—	—	走向・傾斜, 性状が福浦断層と異なる。
6	42.32~42.39	EL 21.77~21.72	N8W/13SW	7.3	—	—	走向・傾斜, 性状が福浦断層と異なる。
7	54.86~54.94	EL 12.90~12.84	N15E/61NW	6.4	—	1.1	隣接孔 (OS-2孔 13.8~33.8m) に連続しない。
8	74.38~74.77	EL -0.90~-1.18	N71E/83SE	21	—	19	走向・傾斜が福浦断層と異なり, 隣接孔 (FD-6孔 15.4~38.1m) に連続しない。
9	86.59~86.65	EL -9.54~-9.58	N18E/60NW	3.5	1.4	—	隣接孔 (OS-2孔 46.0~66.4m) に連続しない。
10	87.88~87.92	EL -10.45~-10.48	N50W/80SW	3.0	—	—	走向・傾斜, 性状が福浦断層と異なる。
11	92.36~92.40	EL -13.62~-13.65	N1E/86NW	2.6	1.4	—	走向・傾斜が福浦断層と異なり, 隣接孔 (OS-2孔 11.2~33.6m) に連続しない。
12	92.71~92.74	EL -13.87~-13.89	N4W/85SW	2.5	1.6	—	隣接孔 (OS-2孔 9.3~32.3m) に連続しない。

OS-2							
No.	確認深度 (m)	標高 (m)	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	粘土状破砕部の幅 (cm)	砂状・角礫状破砕部の幅 (cm)	福浦断層に対応しないと判断した根拠
13	24.91~24.94	EL 38.30~38.27	N35E/30NW	1.8	—	—	走向・傾斜, 性状が福浦断層と異なる。
14	37.95~39.54	EL 29.08~27.95	N89E/74NW	68	—	3.2 2.8	走向・傾斜が福浦断層と異なり, 隣接孔 (FD-6孔 32.5~32.8m) に連続しない。
15	80.71~80.77	EL -1.17~-1.21	N26W/40SW	6.4	—	—	走向・傾斜, 性状が福浦断層と異なる。
16	91.84~91.90	EL -9.03~-9.07	N6W/40SW	5.4	—	—	走向・傾斜, 性状が福浦断層と異なる。
17	97.63~97.66	EL -13.12~-13.15	N23W/35SW	3.6	—	—	走向・傾斜, 性状が福浦断層と異なる。

OS-3							
No.	確認深度 (m)	標高 (m)	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	粘土状破砕部の幅 (cm)	砂状・角礫状破砕部の幅 (cm)	福浦断層に対応しないと判断した根拠
18	35.64~35.68	EL 31.98~31.95	N21W/71SW	3.4	—	—	性状が福浦断層と異なり, 隣接孔 (OS-3' 孔 3.3~11.2m) に連続しない。

OS-3'							
No.	確認深度 (m)	標高 (m)	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	粘土状破砕部の幅 (cm)	砂状・角礫状破砕部の幅 (cm)	福浦断層に対応しないと判断した根拠
19	29.87~30.13	EL 36.05~35.86	N64W/83NE	15	—	—	走向・傾斜, 性状が福浦断層と異なる。
20	42.80~42.82	EL 26.91~26.89	N9E/76NW	1.6	—	—	性状が福浦断層と異なり, 隣接孔 (OS-4孔 0.5~11.0m) に連続しない。

OS-4							
No.	確認深度 (m)	標高 (m)	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	粘土状破砕部の幅 (cm)	砂状・角礫状破砕部の幅 (cm)	福浦断層に対応しないと判断した根拠
21	18.39~18.44	EL 42.44~42.40	N85E/57SE	4.0	—	4.0	走向・傾斜が福浦断層と異なり, 大坪川ダム基礎掘削面に連続しない。
22	18.70~18.79	EL 42.22~42.15	N73W/78SW	6.2	—	6.2	走向・傾斜が福浦断層と異なり, ルートマップHに連続しない。
23	19.02~19.06	EL 41.99~41.96	N56W/80SW	4.0	—	—	走向・傾斜, 性状が福浦断層と異なる。
24	23.06~23.12	EL 39.13~39.09	N84W/13NE	5.8	—	—	走向・傾斜, 性状が福浦断層と異なる。
25	38.39~38.42	EL 28.29~28.27	N56E/42SE	2.5	—	—	走向・傾斜, 性状が福浦断層と異なる。
26	40.91~40.93	EL 26.51~26.50	N5W/48SW	3.0	—	—	走向・傾斜, 性状が福浦断層と異なり, 隣接孔 (FD-6孔 31.7~33.4m) に連続しない。
27	43.78~43.79	EL 24.48~24.48	N42W/89SW	1.2	—	—	走向・傾斜, 性状が福浦断層と異なる。
28	44.40~44.41	EL 24.04~24.04	N36W/81NE	1.2	—	—	走向・傾斜, 性状が福浦断層と異なる。
29	44.64~44.73	EL 23.87~23.81	N27W/80NE	7.4	—	—	走向・傾斜, 性状が福浦断層と異なる。
30	45.02~45.05	EL 23.61~23.58	N85W/17SW	2.2	—	—	走向・傾斜, 性状が福浦断層と異なる。
31	45.57~45.92	EL 23.22~22.97	N85E/80NW	14	1.8	—	走向・傾斜が福浦断層と異なり, 大坪川ダム基礎掘削面に連続しない。
32	46.89~47.10	EL 22.28~22.14	N13E/85SE	9.3	—	—	走向・傾斜, 性状が福浦断層と異なる。

- ・福浦断層と走向・傾斜が対応する破砕部は □ で示す。
- ・福浦断層と走向・傾斜が対応しない破砕部のうち、未固結な破砕部を伴うものについても、連続性の検討を行った。

## 【福浦断層以外の破砕部性状一覧②】

OS-4							
No.	確認深度 (m)	標高 (m)	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	粘土状破砕部の幅 (cm)	砂状・角礫状破砕部の幅 (cm)	福浦断層に対応しないと判断した根拠
33	47.18~47.23	EL 22.08~22.04	N28E/66NW	3.2	—	—	性状が福浦断層と異なり、隣接孔 (OS-11孔 64.7~70.0m) に連続しない。
34	47.71~48.16	EL 21.70~21.39	N58W/81NE	26	—	—	走向・傾斜、性状が福浦断層と異なる。
35	48.44~48.46	EL 21.19~21.17	N71W/16SW	1.2	1.2	—	走向・傾斜が福浦断層と異なり、隣接孔 (OS-2孔 63.7~100.0m) に連続しない。
36	48.82~48.88	EL 20.92~20.88	N49E/21NW	6.6	—	6.6	走向・傾斜が福浦断層と異なり、隣接孔 (OS-3'孔 34.1~57.9m) に連続しない。
37	49.41~49.48	EL 20.50~20.45	N60W/36SW	7.0	7.0	—	走向・傾斜が福浦断層と異なり、ルートマップHIに連続しない。
38	49.67~49.71	EL 20.32~20.29	N60W/85NE	4.0	—	—	走向・傾斜、性状が福浦断層と異なる。
39	50.28~50.90	EL 19.89~19.45	N76W/77NE	33	3.4	—	走向・傾斜が福浦断層と異なり、ルートマップHIに連続しない。
40	52.21~52.25	EL 18.52~18.49	N33E/64SE	1.2	—	1.2	走向・傾斜が福浦断層と異なり、隣接孔 (OS-11孔 57.9~65.9m) に連続しない。
41	58.64~58.79	EL 13.98~13.87	N11E/17NW	16	—	16	走向・傾斜が福浦断層と異なり、ルートマップHIに連続しない。
42	60.89~61.12	EL 12.38~12.22	N36E/56NW	17	—	17	走向・傾斜が福浦断層と異なり、隣接孔 (OS-11孔 50.6~53.5m) に連続しない。
43	62.57~62.67	EL 11.20~11.13	N24W/73SW	10	—	—	性状が福浦断層と異なり、隣接孔 (FD-3孔 16.3~25.8m) に連続しない。
44	62.84~62.87	EL 11.01~10.98	N78W/42SW	2.6	—	—	走向・傾斜、性状が福浦断層と異なる。
45	63.16~63.22	EL 10.78~10.74	N30W/87NE	3.8	—	—	走向・傾斜、性状が福浦断層と異なる。
46	63.35~63.38	EL 10.64~10.62	N51E/49NW	3.4	—	—	走向・傾斜、性状が福浦断層と異なる。
47	63.75~63.82	EL 10.36~10.31	N22W/40SW	4.0	—	—	走向・傾斜、性状が福浦断層と異なる。
48	65.15~65.18	EL 9.37~9.35	N56E/37NW	2.2	—	—	走向・傾斜、性状が福浦断層と異なる。
49	65.55~66.09	EL 9.09~8.71	N11W/85NE	30	0.4 10	—	走向・傾斜が福浦断層と異なり、隣接孔 (F-1'孔 67.8~70.3m) に連続しない。
50	66.31~66.35	EL 8.55~8.52	N32W/84NE	4.0	4.0	—	走向・傾斜が福浦断層と異なり、隣接孔 (FD-3孔 35.4~41.3m) に連続しない。
51	78.67~78.70	EL -0.19~-0.21	N86E/84NW	2.7	—	—	走向・傾斜、性状が福浦断層と異なる。
52	84.39~85.05	EL -4.23~-4.70	N76E/69SE	44	—	2.6 9.0	走向・傾斜が福浦断層と異なり、大坪川ダム基礎掘削面に連続しない。
53	85.17~85.35	EL -4.78~-4.83	N62E/77SE	12	—	12	走向・傾斜が福浦断層と異なり、隣接孔 (OS-5孔 23.1~33.6m, OS-6孔 29.2~37.3m) に連続しない。
54	86.00~86.20	EL -5.37~-5.51	N71E/36SE	15	—	—	走向・傾斜、性状が福浦断層と異なる。
55	86.70~86.79	EL -5.87~-5.93	N84E/76NW	5.2	1.9	—	走向・傾斜が福浦断層と異なり、大坪川ダム基礎掘削面に連続しない。

OS-4							
No.	確認深度 (m)	標高 (m)	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	粘土状破砕部の幅 (cm)	砂状・角礫状破砕部の幅 (cm)	福浦断層に対応しないと判断した根拠
56	89.66~89.70	EL -7.96~-7.99	N65W/86NE	3.5	0.3	—	走向・傾斜が福浦断層と異なり、ルートマップHIに連続しない。
57	90.77~91.13	EL -8.74~-9.00	N75E/79NW	6.3	0.8	—	走向・傾斜が福浦断層と異なり、大坪川ダム基礎掘削面に連続しない。
58	91.45~91.47	EL -9.22~-9.24	N10E/49NW	2.4	0.6	—	走向・傾斜が福浦断層と異なり、隣接孔 (FD-3孔 0.0~19.5m) に連続しない。
59	91.95~92.83	EL -9.58~-10.20	N48W/77SW	72	1.0	6.9	走向・傾斜が福浦断層と異なり、ルートマップHIに連続しない。
60	94.45~94.47	EL -11.35~-11.36	N86E/58SE	2.1	0.3	—	走向・傾斜が福浦断層と異なり、大坪川ダム基礎掘削面に連続しない。
61	97.82~97.89	EL -13.73~-13.78	N24W/69NE	2.4	—	2.4	走向・傾斜が福浦断層と異なり、隣接孔 (FD-3孔 0.0~35.6m) に連続しない。
62	98.52~98.58	EL -14.22~-14.27	N80E/88NW	2.0	—	—	走向・傾斜、性状が福浦断層と異なる。
63	99.49~99.55	EL -14.91~-14.95	N58E/72SE	5.4	—	5.4	走向・傾斜が福浦断層と異なり、大坪川ダム基礎掘削面に連続しない。
64	100.46~100.49	EL -15.60~-15.62	N84W/77SW	3.6	—	—	走向・傾斜、性状が福浦断層と異なる。
65	100.81~100.86	EL -15.84~-15.88	N74E/50SE	5.1	1.4	—	走向・傾斜が福浦断層と異なり、大坪川ダム基礎掘削面に連続しない。
66	106.03~106.08	EL -19.53~-19.57	N58E/77SE	1.4	—	—	走向・傾斜、性状が福浦断層と異なる。

FD-8							
No.	確認深度 (m)	標高 (m)	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	粘土状破砕部の幅 (cm)	砂状・角礫状破砕部の幅 (cm)	福浦断層に対応しないと判断した根拠
67	48.88~48.96	EL 13.74~13.68	N22E/13SE	6.0	2.5	—	走向・傾斜が福浦断層と異なり、隣接孔 (OS-4孔 0~68.9m) に連続しない。
68	61.78~61.96	EL 4.61~4.49	N29E/22NW	12	1.5	—	走向・傾斜が福浦断層と異なり、ルートマップFに連続しない。

FD-8'							
No.	確認深度 (m)	標高 (m)	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	粘土状破砕部の幅 (cm)	砂状・角礫状破砕部の幅 (cm)	福浦断層に対応しないと判断した根拠
破砕部は認められない							

FD-9							
No.	確認深度 (m)	標高 (m)	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	粘土状破砕部の幅 (cm)	砂状・角礫状破砕部の幅 (cm)	福浦断層に対応しないと判断した根拠
69	19.44~19.52	EL 33.37~33.32	N89W/42SW	8.0	—	—	走向・傾斜、性状が福浦断層と異なる。
70	24.63~24.82	EL 29.70~29.57	N42E/17SE	13	1.0	—	走向・傾斜が福浦断層と異なり、ルートマップHIに連続しない。

- ・福浦断層と走向・傾斜が対応する破砕部は □ で示す。
- ・福浦断層と走向・傾斜が対応しない破砕部のうち、未固結な破砕部を伴うものについても、連続性の検討を行った。

### 【福浦断層以外の破砕部性状一覧③】

OS-11							
No.	確認深度 (m)	標高 (m)	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	粘土状破砕部の幅 (cm)	砂状・角礫状破砕部の幅 (cm)	福浦断層に対応しないと判断した根拠
71	13.59~13.63	EL 46.30~46.27	N30W/21SW	4.0	1.2	—	走向・傾斜が福浦断層と異なり、隣接孔(OS-2孔 10.7~12.4m)に連続しない。
72	35.37~35.39	EL 30.90~30.89	N37E/58NW	2.6	0.6	—	走向・傾斜が福浦断層と異なり、隣接孔(OS-3'孔 38.7~40.8m)に連続しない。
73	37.70~37.71	EL 29.25	N5W/72SW	1.1	—	—	性状が福浦断層と異なり、隣接孔(OS-2孔 35.3~35.9m)に連続しない。
74	40.95~40.96	EL 26.95	N31W/18SW	1.2	1.2	—	走向・傾斜が福浦断層と異なり、隣接孔(OS-2孔 32.5~38.1m)に連続しない。
75	59.77~59.83	EL 13.65~13.60	N75E/77SE	5.0	—	—	走向・傾斜、性状が福浦断層と異なる。
76	60.77	EL 12.94	N12W/81SW	1.4	—	1.4	隣接孔(OS-2孔 46.1~50.0m)に連続しない。
77	61.44~61.54	EL 12.47~12.39	N64E/78SE	4.0	—	—	走向・傾斜、性状が福浦断層と異なる。
78	61.80~61.81	EL 12.21~12.20	N80E/74NW	1.4	—	—	走向・傾斜、性状が福浦断層と異なる。
79	65.14~65.55	EL 9.85~9.56	N82E/83SE	31	—	0.5	走向・傾斜が福浦断層と異なり、ルートマップ1に連続しない。

FD-3							
No.	確認深度 (m)	標高 (m)	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	粘土状破砕部の幅 (cm)	砂状・角礫状破砕部の幅 (cm)	福浦断層に対応しないと判断した根拠
破砕部は認められない							

FD-6							
No.	確認深度 (m)	標高 (m)	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	粘土状破砕部の幅 (cm)	砂状・角礫状破砕部の幅 (cm)	福浦断層に対応しないと判断した根拠
80	44.92~45.00	EL 21.20~21.14	N11W/19SW	7.5	—	7.5	走向・傾斜が福浦断層と異なり、隣接孔(F-1'孔 44.7~45.3m)に連続しない。

FD-1							
No.	確認深度 (m)	標高 (m)	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	粘土状破砕部の幅 (cm)	砂状・角礫状破砕部の幅 (cm)	福浦断層に対応しないと判断した根拠
破砕部は認められない							

FD-2							
No.	確認深度 (m)	標高 (m)	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	粘土状破砕部の幅 (cm)	砂状・角礫状破砕部の幅 (cm)	福浦断層に対応しないと判断した根拠
破砕部は認められない							

FD-4							
No.	確認深度 (m)	標高 (m)	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	粘土状破砕部の幅 (cm)	砂状・角礫状破砕部の幅 (cm)	福浦断層に対応しないと判断した根拠
破砕部は認められない							

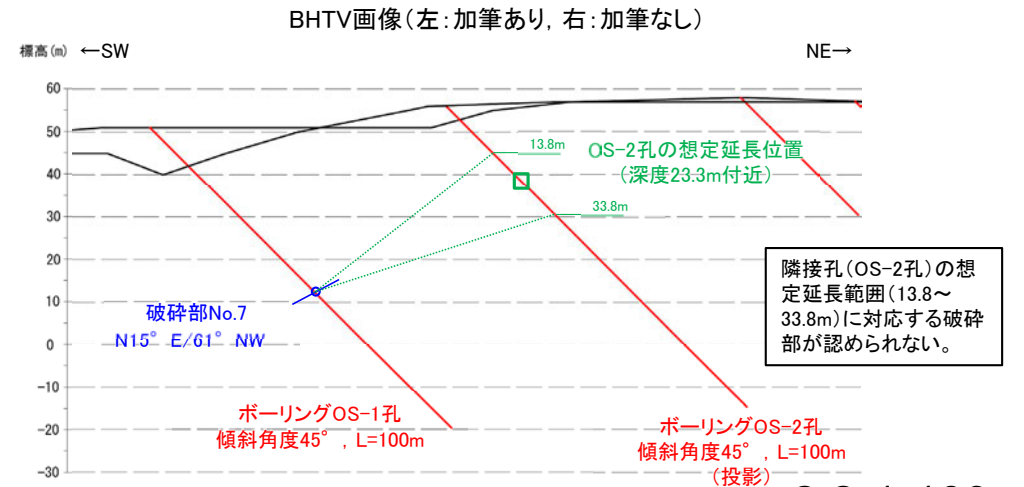
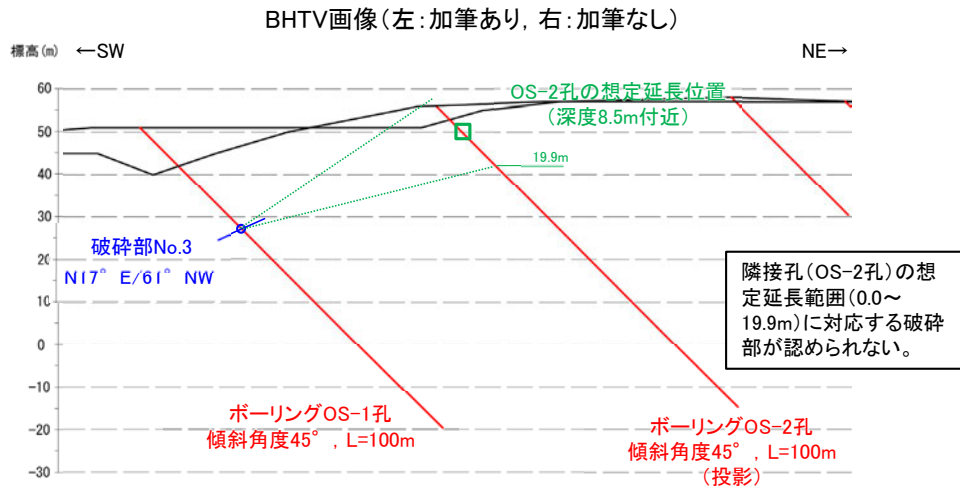
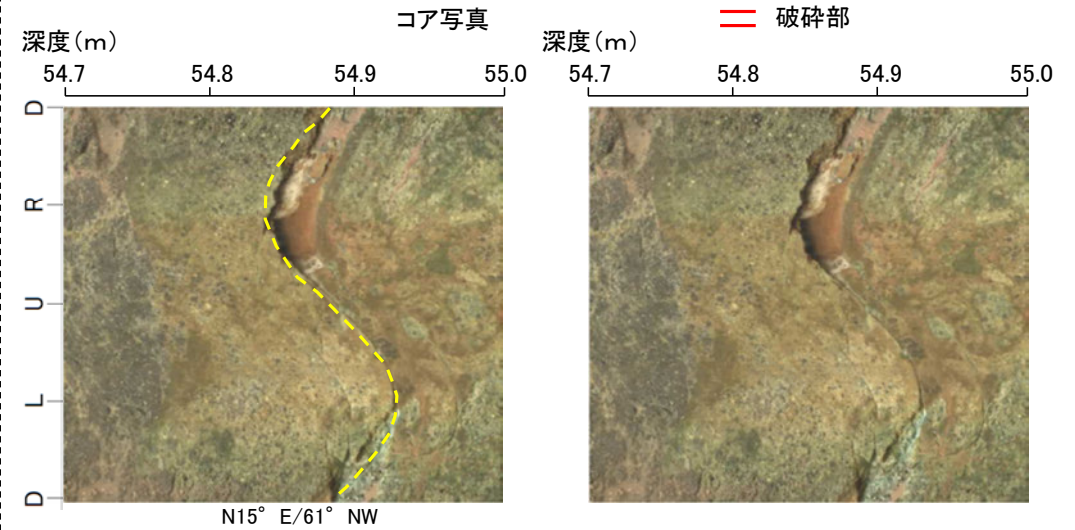
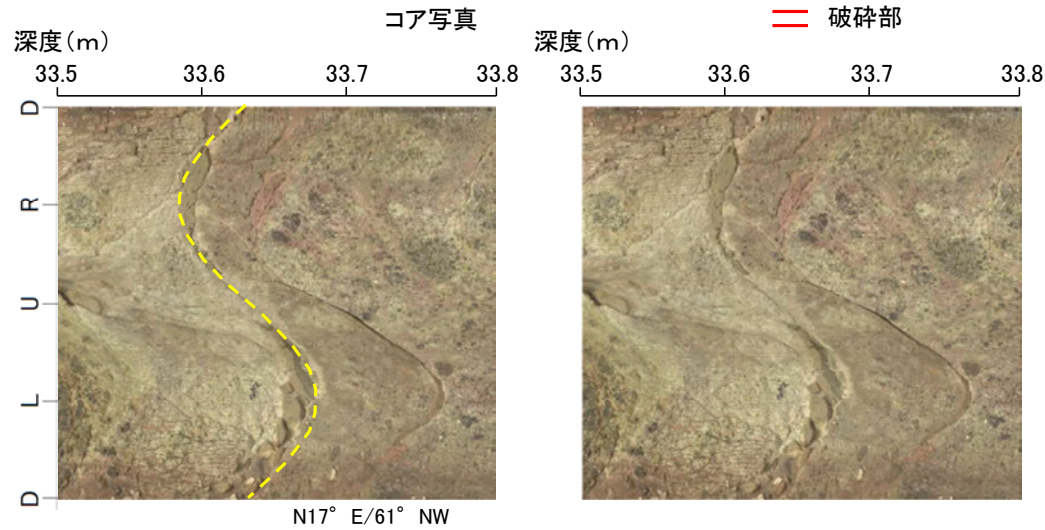
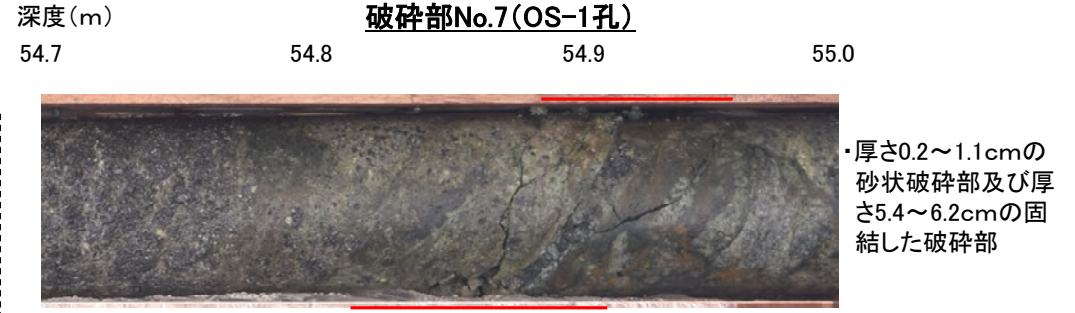
FD-5							
No.	確認深度 (m)	標高 (m)	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	粘土状破砕部の幅 (cm)	砂状・角礫状破砕部の幅 (cm)	福浦断層に対応しないと判断した根拠
81	37.50~37.61	EL 10.66~10.59	N44E/68NW	7.0	—	—	走向・傾斜、性状が福浦断層と異なる。

FD-7							
No.	確認深度 (m)	標高 (m)	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	粘土状破砕部の幅 (cm)	砂状・角礫状破砕部の幅 (cm)	福浦断層に対応しないと判断した根拠
82	21.40~21.56	EL 23.90~23.78	N52E/64NW	15	—	—	走向・傾斜、性状が福浦断層と異なる。
83	38.22~38.24	EL 12.00~11.99	N83E/29NW	3.0	—	—	走向・傾斜、性状が福浦断層と異なる。
84	41.02~41.39	EL 10.02~9.76	N50E/77NW	30	—	—	走向・傾斜、性状が福浦断層と異なる。

OS-9							
No.	確認深度 (m)	標高 (m)	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	粘土状破砕部の幅 (cm)	砂状・角礫状破砕部の幅 (cm)	福浦断層に対応しないと判断した根拠
85	19.12~19.14	EL 42.03~42.02	N17W/82SW	1.4	—	—	性状が福浦断層と異なり、隣接孔(OS-4孔: 1.4~6.0m, OS-3'孔: 51.9~60.0m)に連続しない。
86	20.73~20.93	EL 40.89~40.75	N29W/79SW	15	2.0	—	隣接孔(OS-4孔: 6.5~10.1m, OS-3'孔: 54.4~60.0m)に連続しない。
87	53.38~53.40	EL 17.80~17.79	N75E/48SE	1.5	—	—	走向・傾斜、性状が福浦断層と異なる。
88	54.38~54.40	EL 17.10~17.08	N46W/80SW	1.5	0.7	—	走向・傾斜が福浦断層と異なり、隣接孔(OS-4孔 31.5~37.4m)に連続しない。
89	55.42~55.50	EL 16.36~16.31	N30E/74SE	6.1	0.2 0.5	—	走向・傾斜が福浦断層と異なり、隣接孔(OS-1孔)の想定延長範囲(56.3~100.0m)に対応する破砕部が認められない。
90	61.51~61.53	EL 12.06~12.04	N19W/88SW	1.1	1.1	—	走向・傾斜が福浦断層と異なり、隣接孔(OS-4孔)の想定延長範囲(1.4~18.6m)に対応する破砕部が認められない。
91	68.25~68.33	EL 7.29~7.23	N19E/16NW	5.7	—	—	走向・傾斜、性状が福浦断層と異なる。
92	70.66~70.72	EL 5.59~5.54	N71E/57SE	5.4	—	5.4	走向・傾斜が福浦断層と異なり、大坪川ダム基礎掘削面に連続しない。
93	71.04~71.06	EL 5.32~5.30	N53E/47SE	2.5	0.5	—	走向・傾斜が福浦断層と異なり、大坪川ダム基礎掘削面に連続しない。
94	79.63~79.67	EL -0.76~-0.79	N62E/71SE	4.0	0.7	—	走向・傾斜が福浦断層と異なり、大坪川ダム基礎掘削面に連続しない。



## 【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-1孔) (1/4)】



断面図

断面図

## 【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-1孔) (2/4)】

深度(m) 74.3 74.4 74.5 74.6 74.7 74.8 74.9 75.0

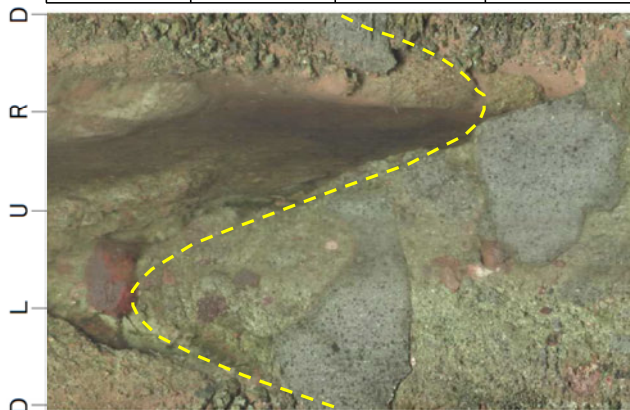
**破碎部No.8(OS-1孔)**



== 破碎部

コア写真

深度(m) 74.6 74.7 74.8 74.9 75.0



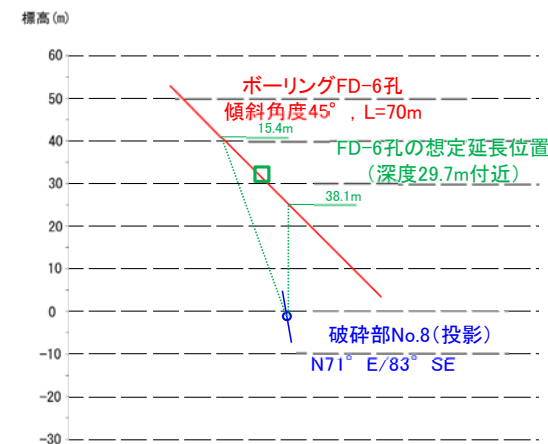
N71° E/83° SE

深度(m) 74.6 74.7 74.8 74.9 75.0



BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)

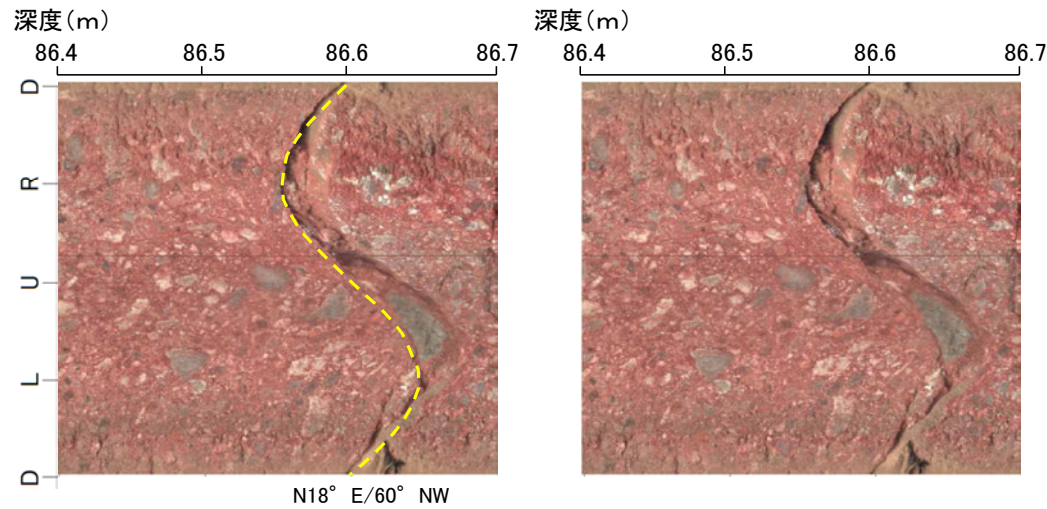
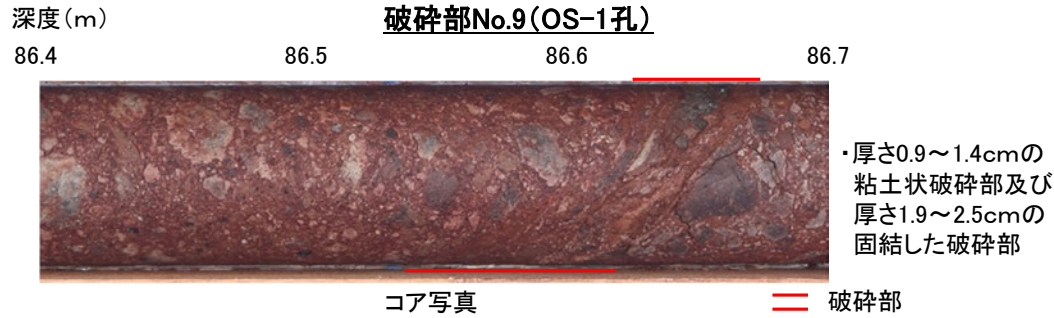
・厚さ16~19cmの砂状破碎部及び厚さ3.4~3.8cmの固結した破碎部



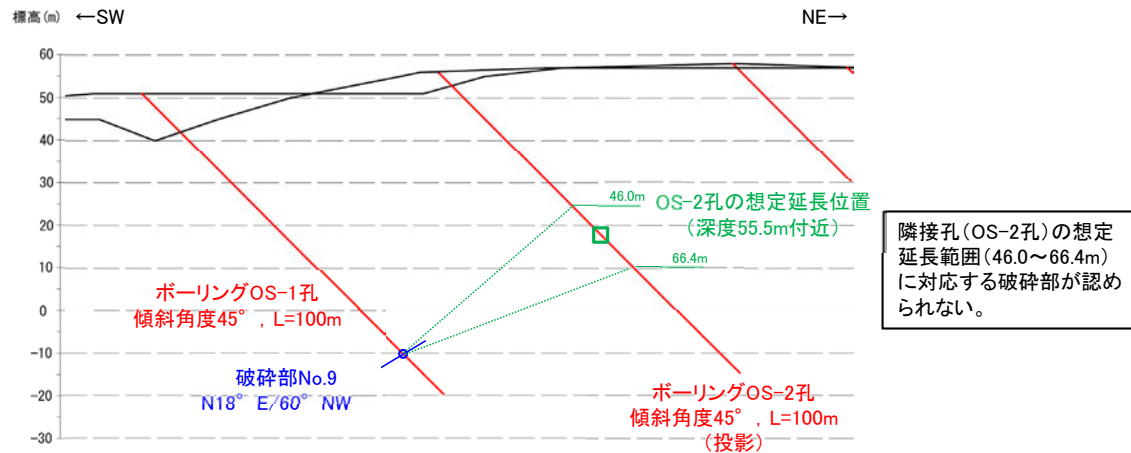
断面図

走向・傾斜が福浦断層と異なり、隣接孔(FD-6孔)の想定延長範囲(15.4~38.1m)に対応する破碎部が認められない。

## 【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-1孔) (3/4)】

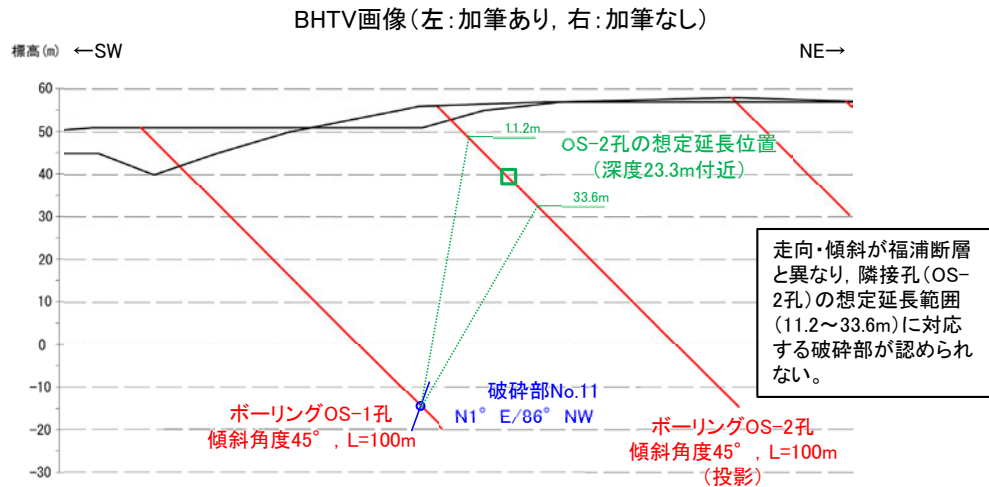
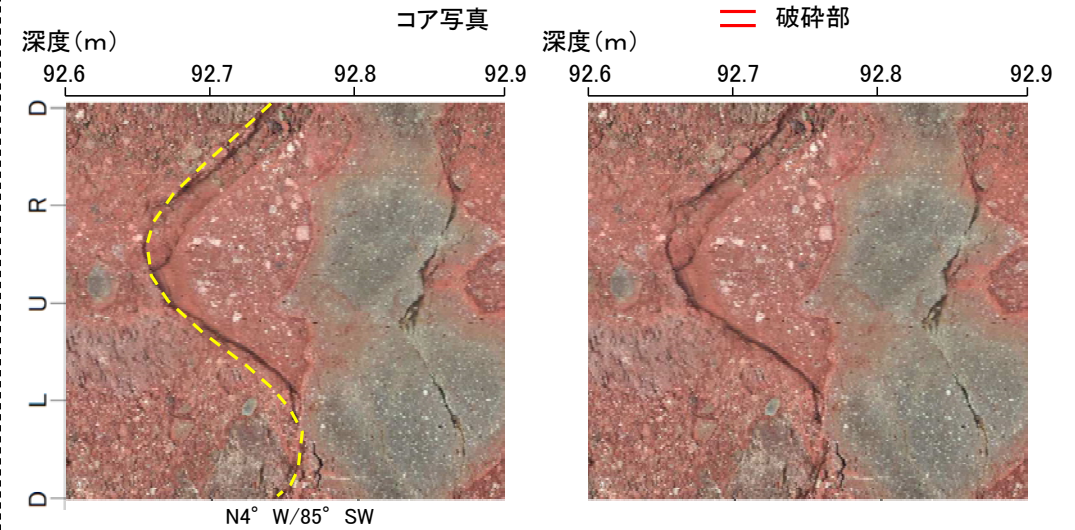
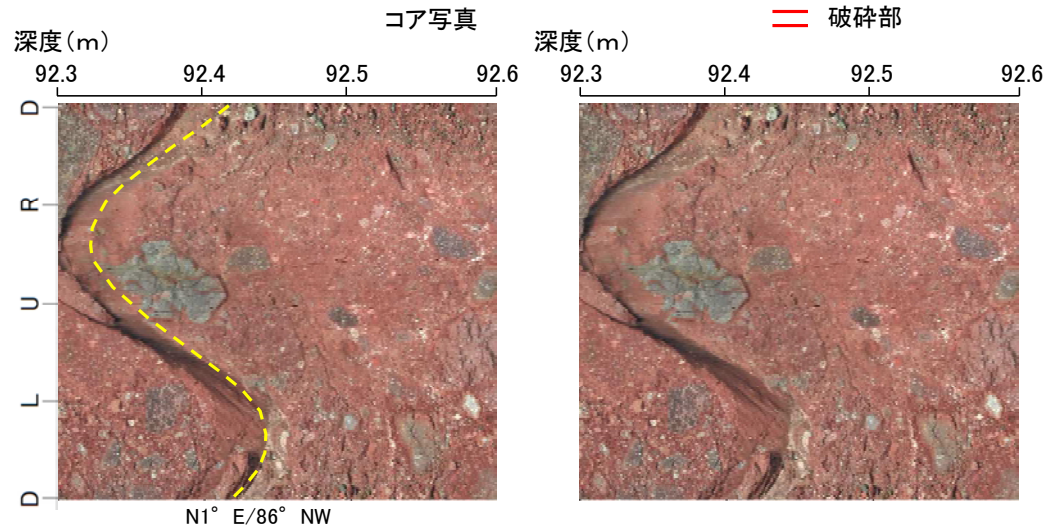
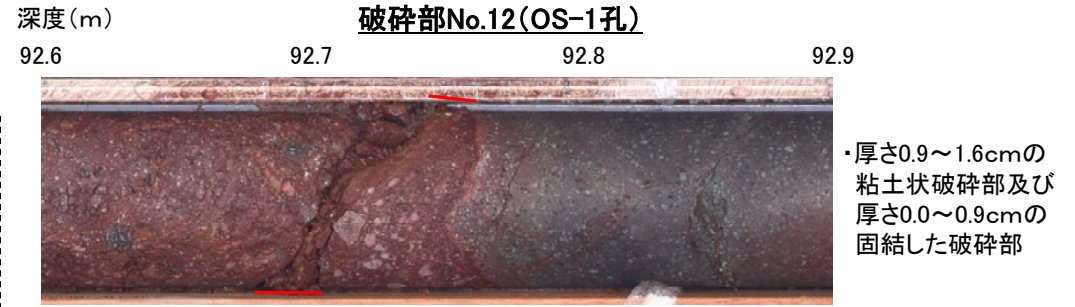
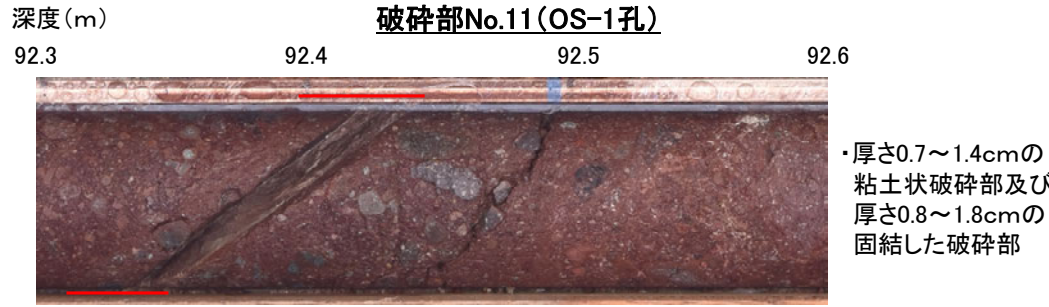


BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)

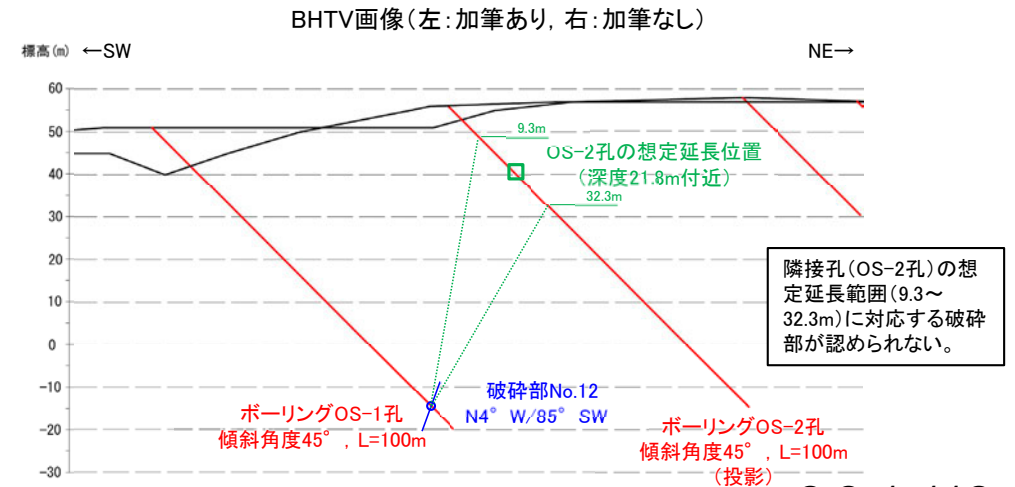


断面図

## 【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-1孔) (4/4)】



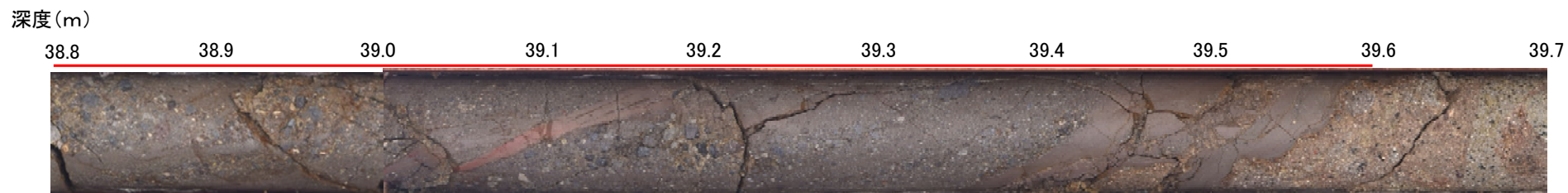
断面図



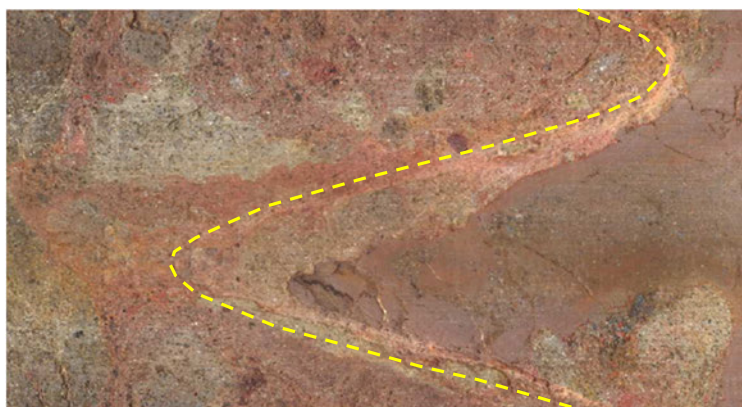
断面図

# 【福浦断層以外の破砕部の連続性確認(OS-2孔) (1/1)】

— 破砕部



深度(m) 37.7 37.8 37.9 38.0 38.1 38.2 深度(m) コア写真

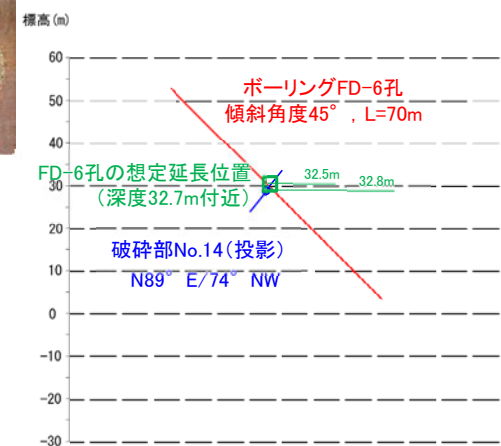


N89° E/74° NW



BHTV画像(上:加筆あり, 下:加筆なし)

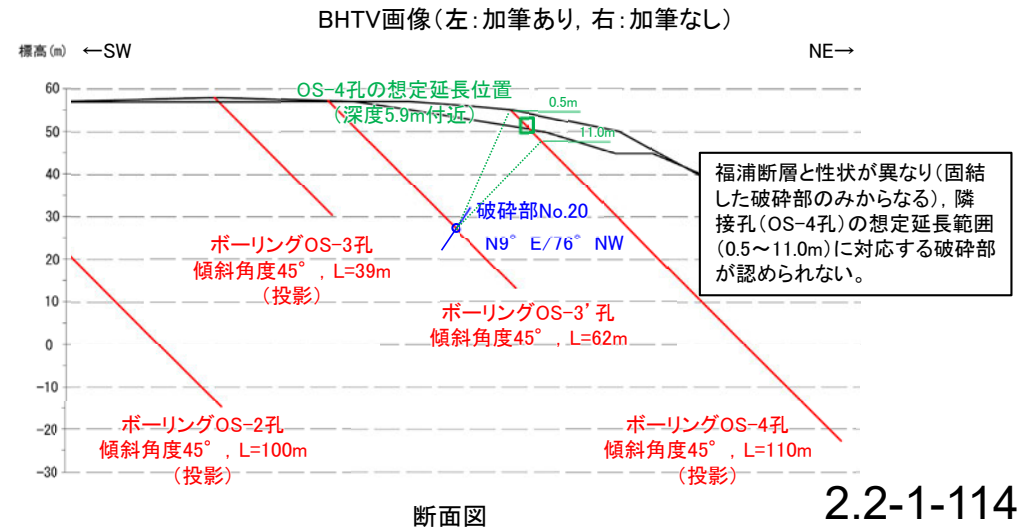
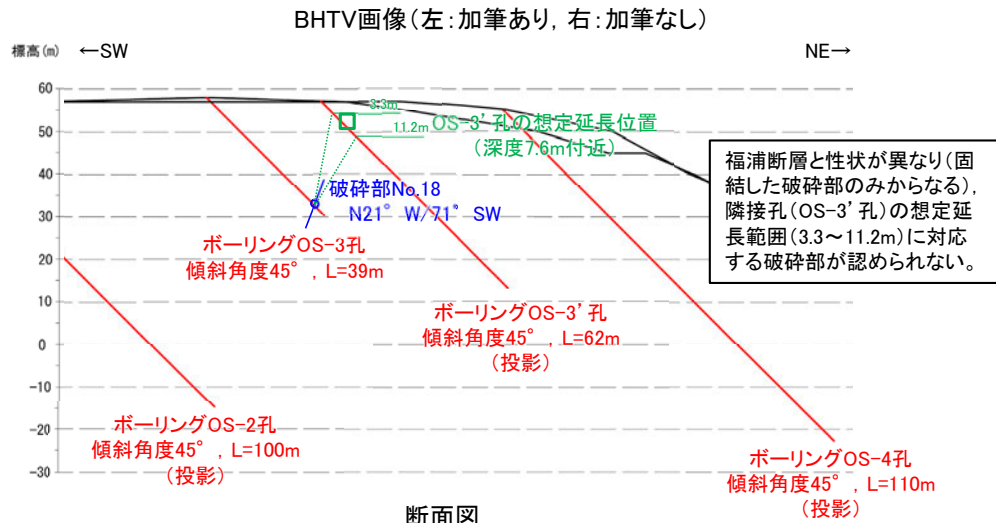
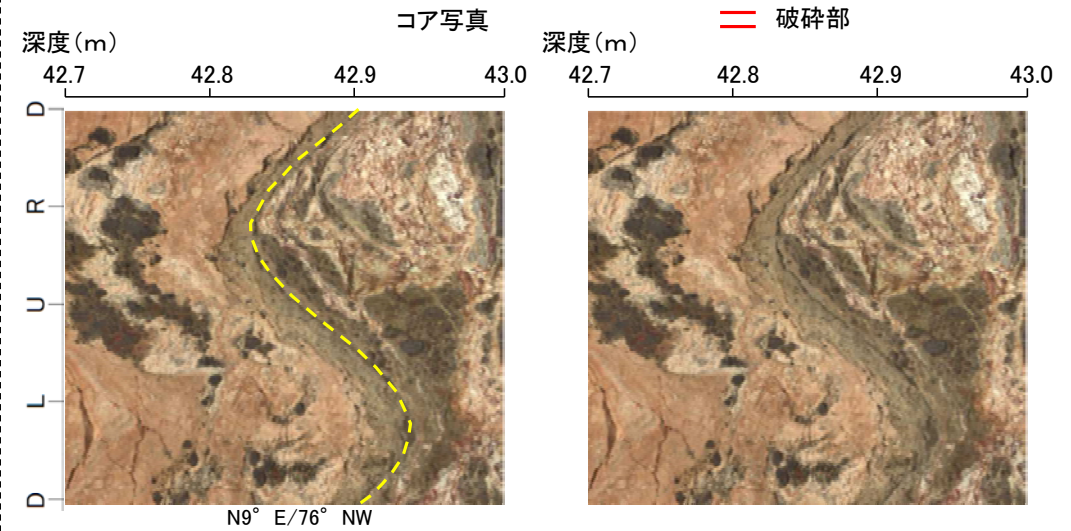
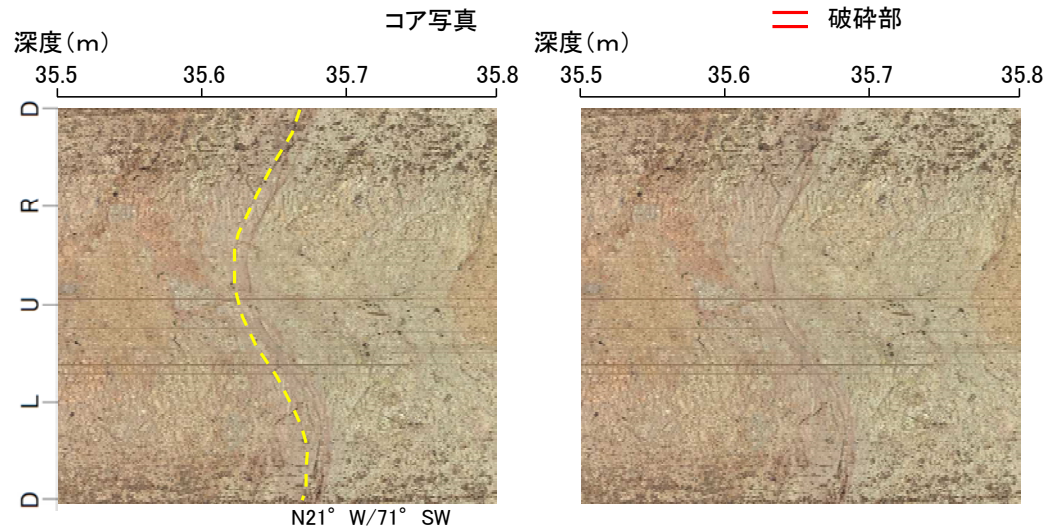
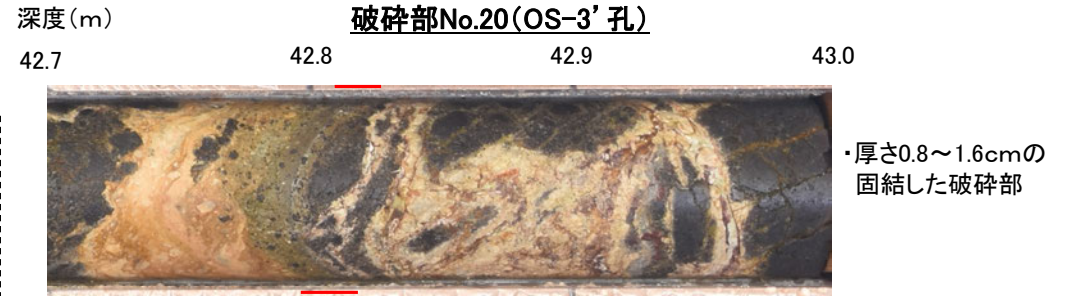
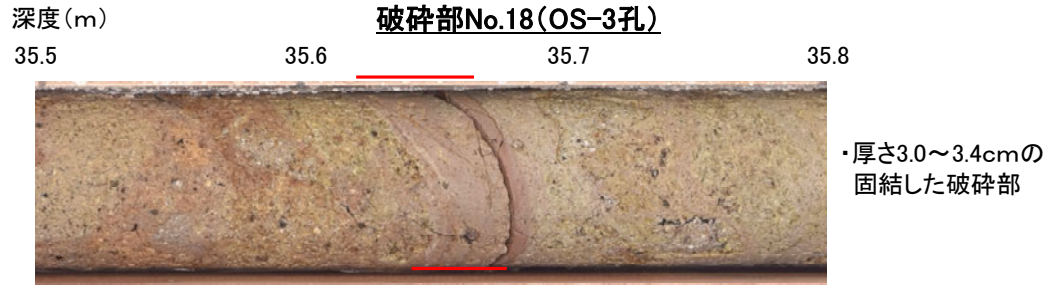
・厚さ1.8~3.2cmの灰白色の角礫状破砕部, 厚さ2.0~2.8cmの暗灰黄色の角礫状破砕部及び厚さ63cmの固結した破砕部



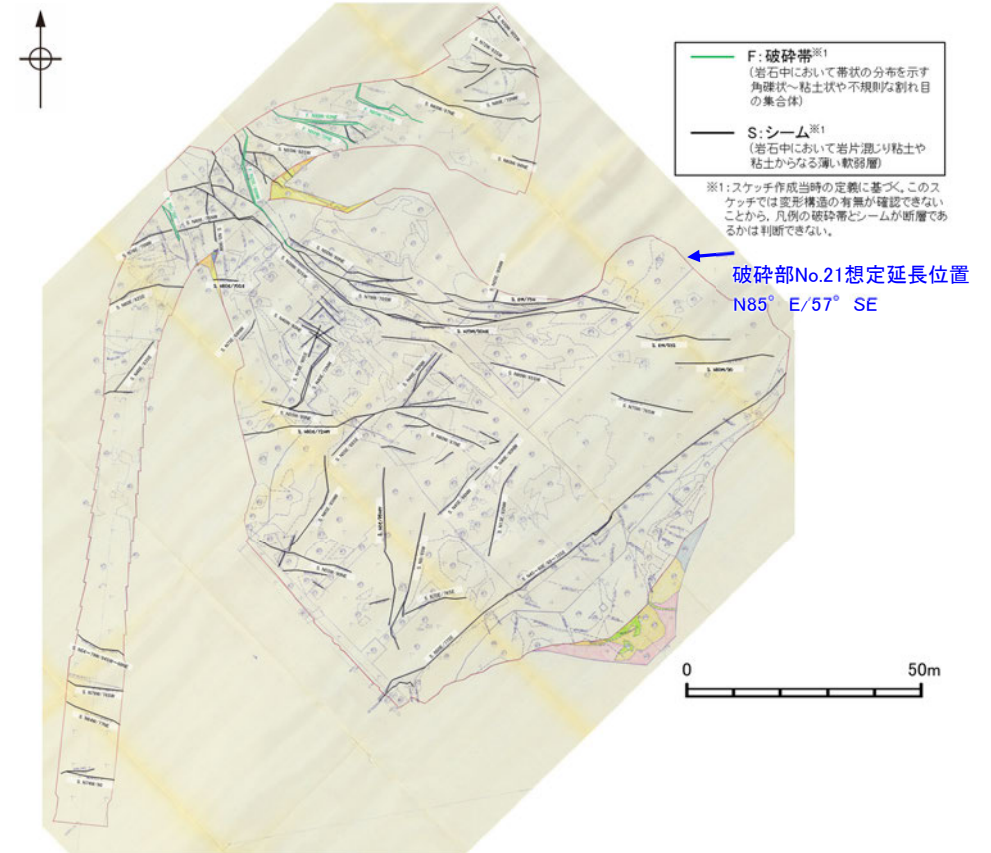
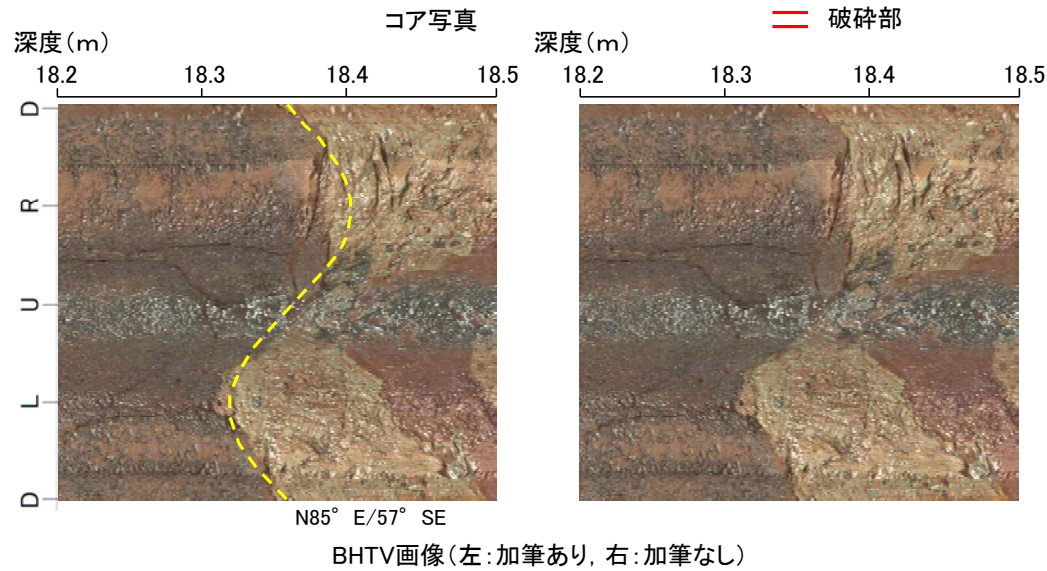
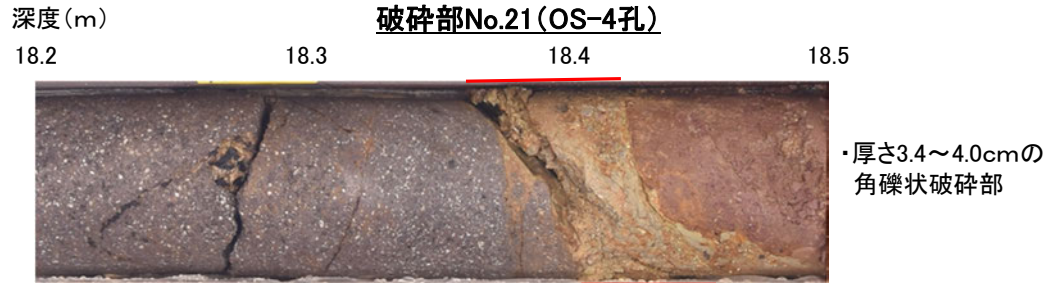
走向・傾斜が福浦断層と異なり, 隣接孔(FD-6孔)の想定延長範囲(32.5~32.8m)に対応する破砕部が認められない。

断面図

## 【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-3孔, OS-3'孔) (1/1)】



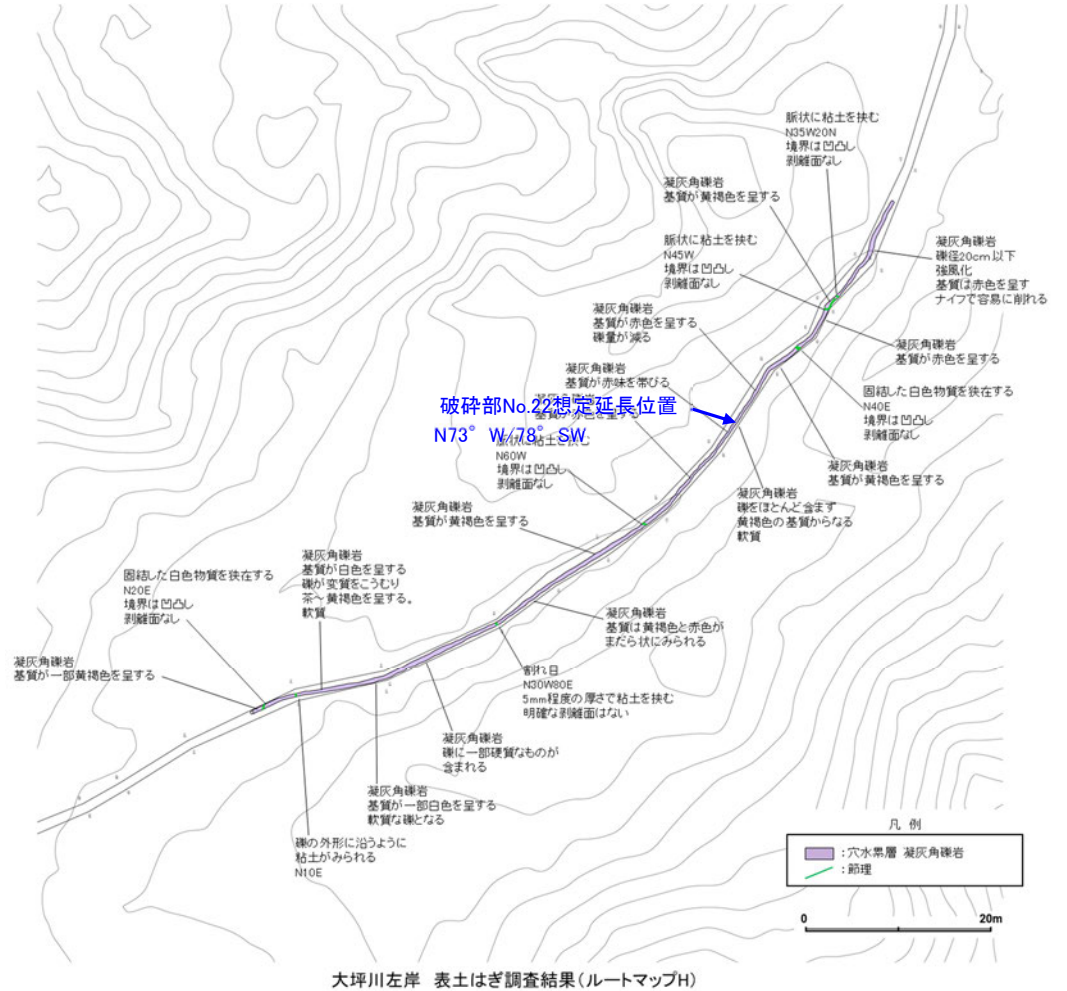
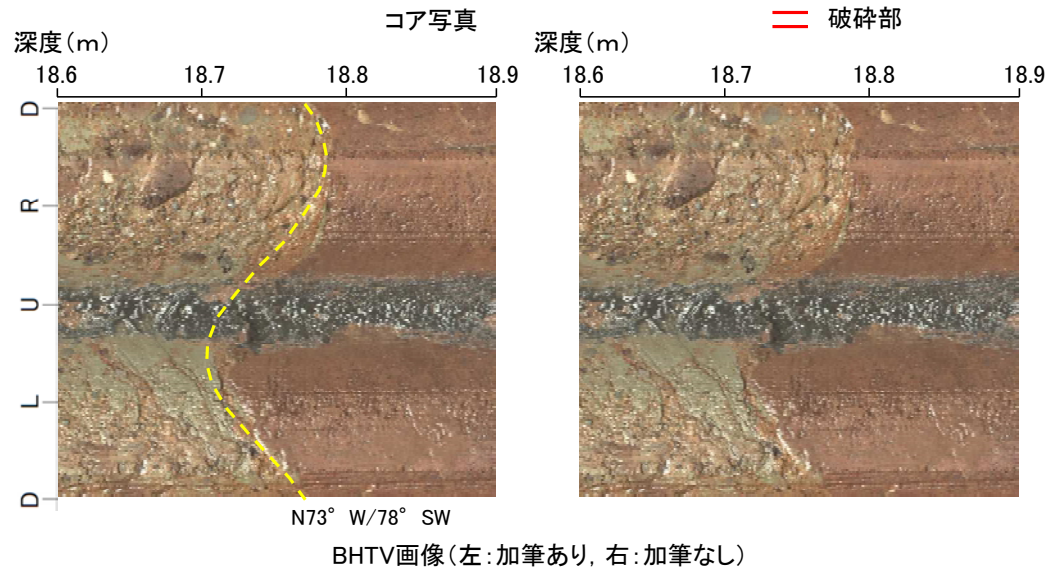
## 【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-4孔) (1/24)】



大坪川ダム基礎掘削面スケッチ

走向・傾斜が福浦断層と異なり、大坪川ダム基礎掘削面の想定延長位置に対応する破碎部が認められない。

## 【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-4孔) (2/24)】



走向・傾斜が福浦断層と異なり、ルートマップHの想定延長位置に対応する破碎部が認められない。



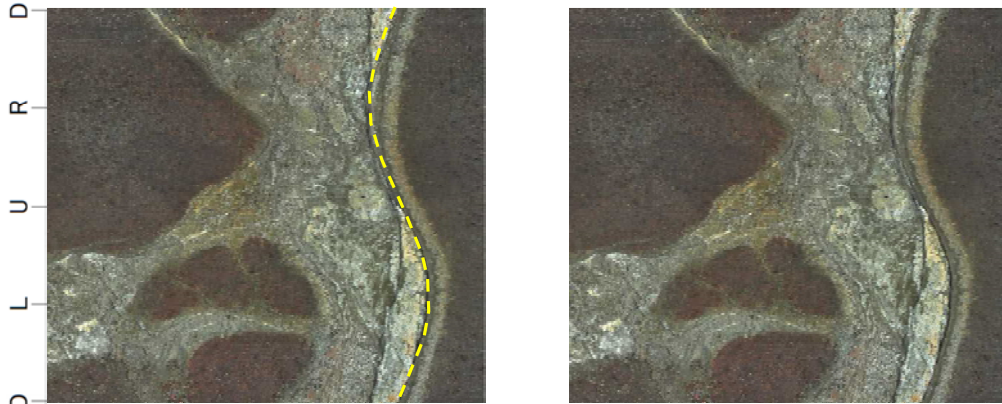
## 【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-4孔) (3/24)】

深度(m) **破碎部No.26(OS-4孔)**  
40.7 40.8 40.9 41.0



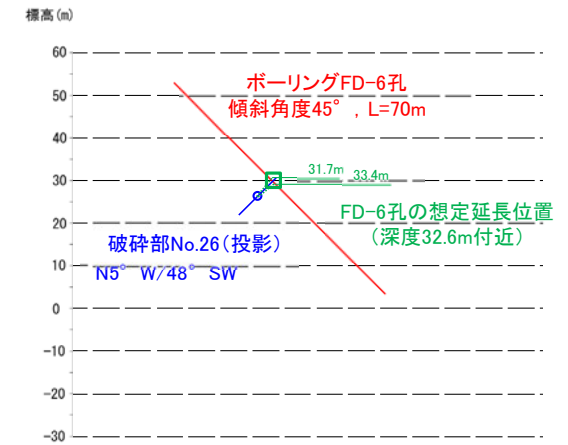
・厚さ1.7~3.0cmの  
固結した破碎部

コア写真 深度(m) 深度(m) 破碎部  
40.7 40.8 40.9 41.0 40.7 40.8 40.9 41.0



N5° W/48° SW

BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)



断面図

走向・傾斜が福浦断層と異なり、隣接孔(FD-6孔)の想定延長範囲(31.7~33.4m)に対応する破碎部が認められない。

# 【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-4孔) (4/24)】

深度(m) **破碎部No.31(OS-4孔)**

45.5                      45.6                      45.7                      45.8                      45.9                      46.0                      46.1

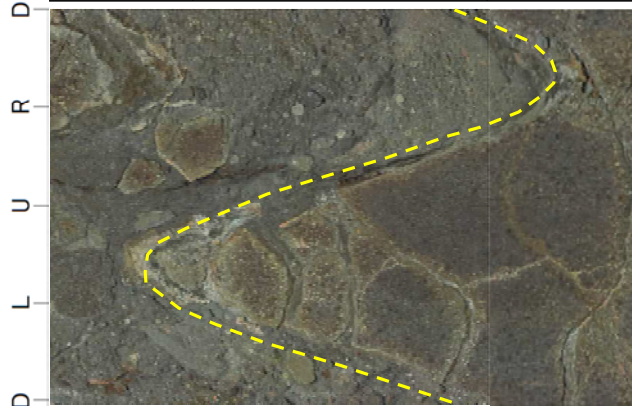


・厚さ1.3～1.8cmの粘土状破碎部及  
び厚さ7.9～13cmの固結した破碎部

== 破碎部

コア写真

深度(m) 45.7      45.8      45.9      46.0      46.1

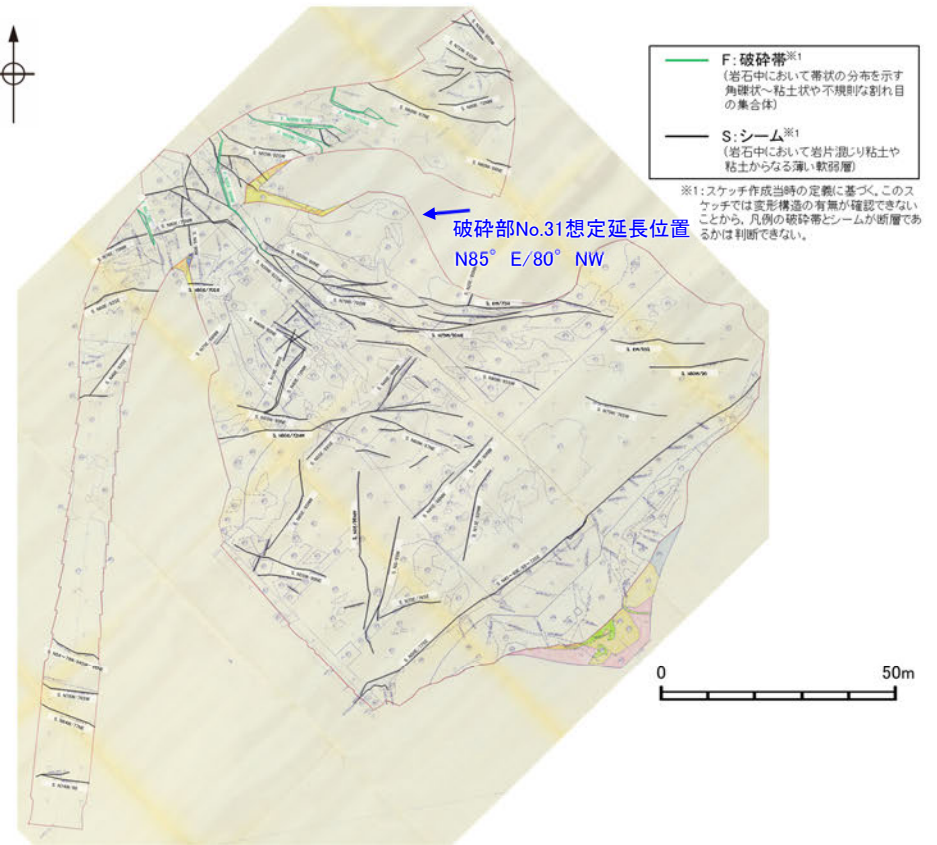


N85° E/80° NW

深度(m) 45.8      45.9      46.0



BHTV画像(上:加筆あり,下:加筆なし)



F: 破碎帯※1  
(岩石中において帯状の分布を示す角礫状～粘土状や不規則な割れ目の集合体)

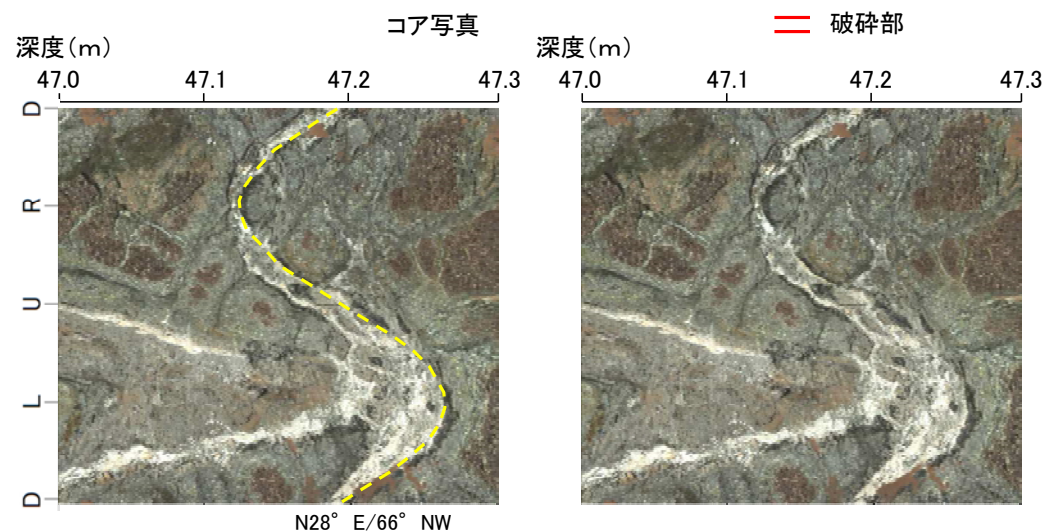
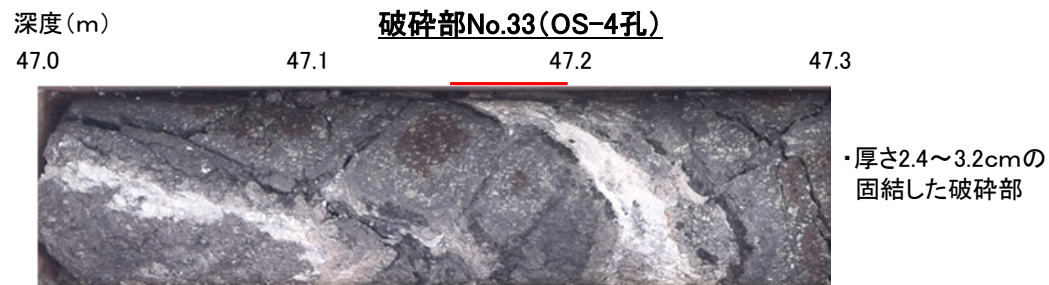
S: シーム※1  
(岩石中において岩片混り粘土や粘土からなる薄い軟弱層)

※1: スケッチ作成当時の定義に基づき、このスケッチでは変形構造の有無が確認できないことから、凡例の破碎帯とシームが断層であるかは判断できない。

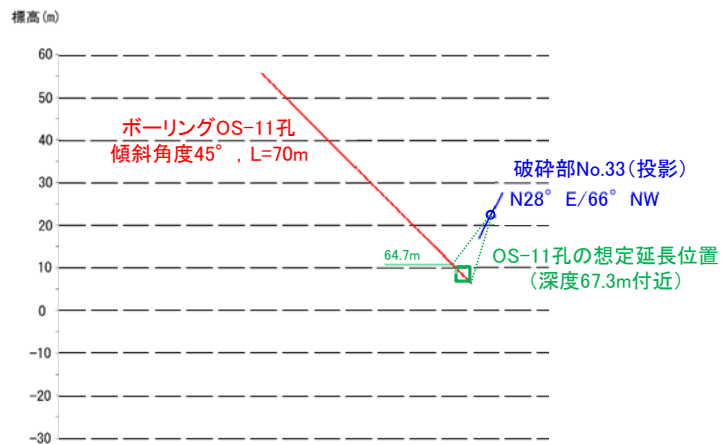
大坪川ダム基礎掘削面スケッチ

走向・傾斜が福浦断層と異なり、大坪川ダム基礎掘削面の想定延長位置に対応する破碎部が認められない。

## 【福浦断層以外の破砕部の連続性確認(OS-4孔) (5/24)】

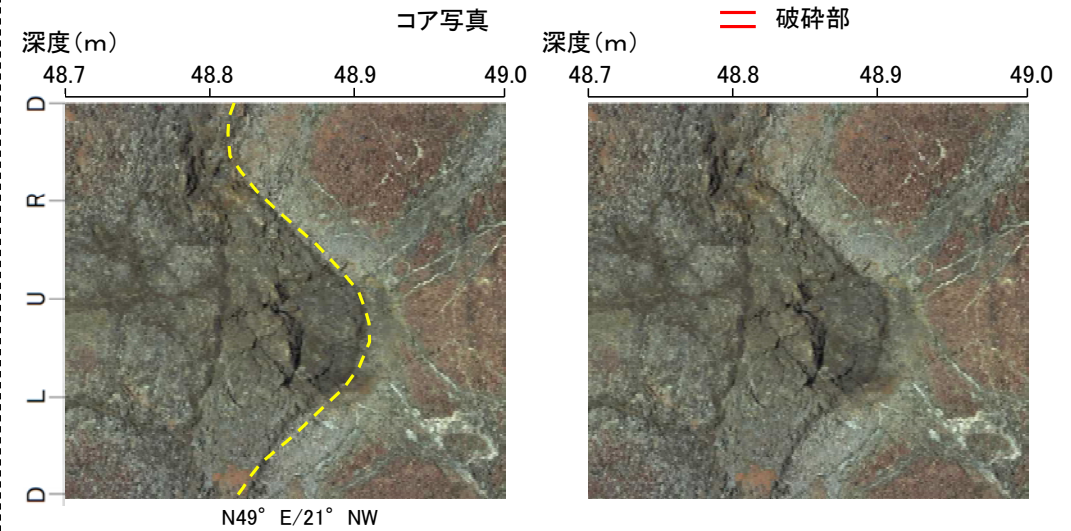
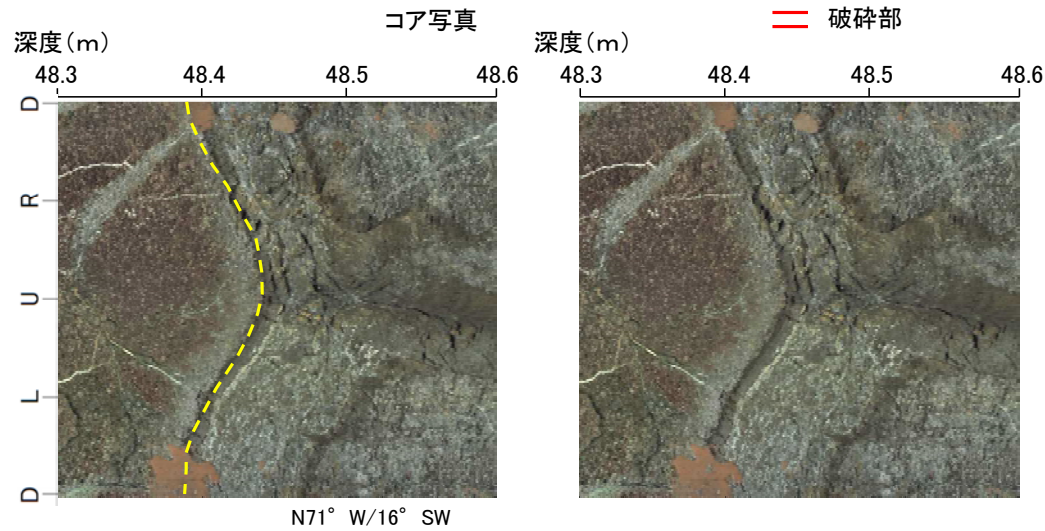
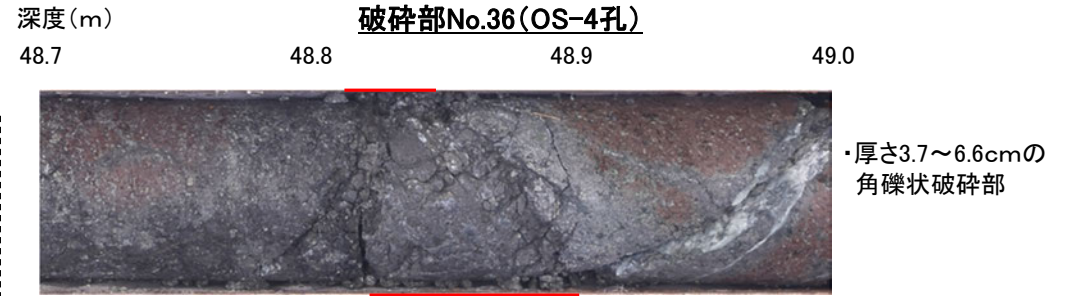


BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)



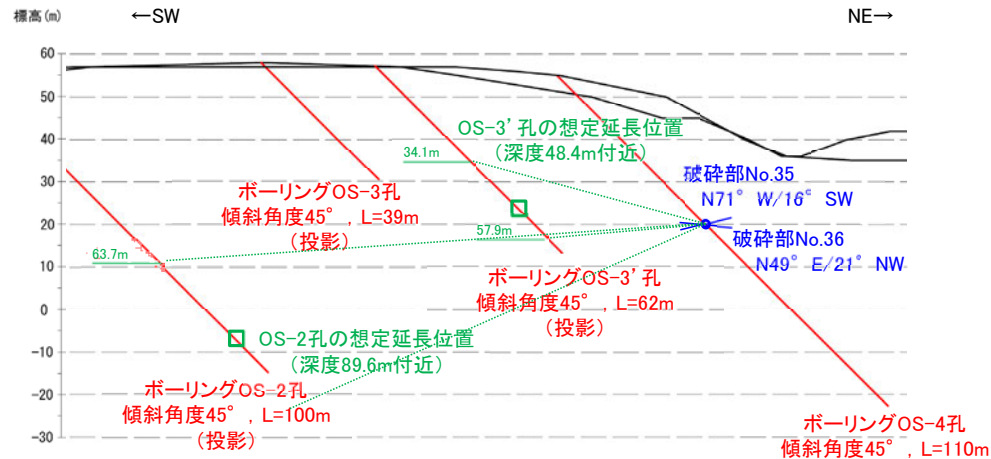
福浦断層と性状が異なり(固結した破砕部のみからなる), 隣接孔(OS-11孔)の想定延長範囲(64.7~70.0m)に対応する破砕部が認められない。

## 【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-4孔) (6/24)】



BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)

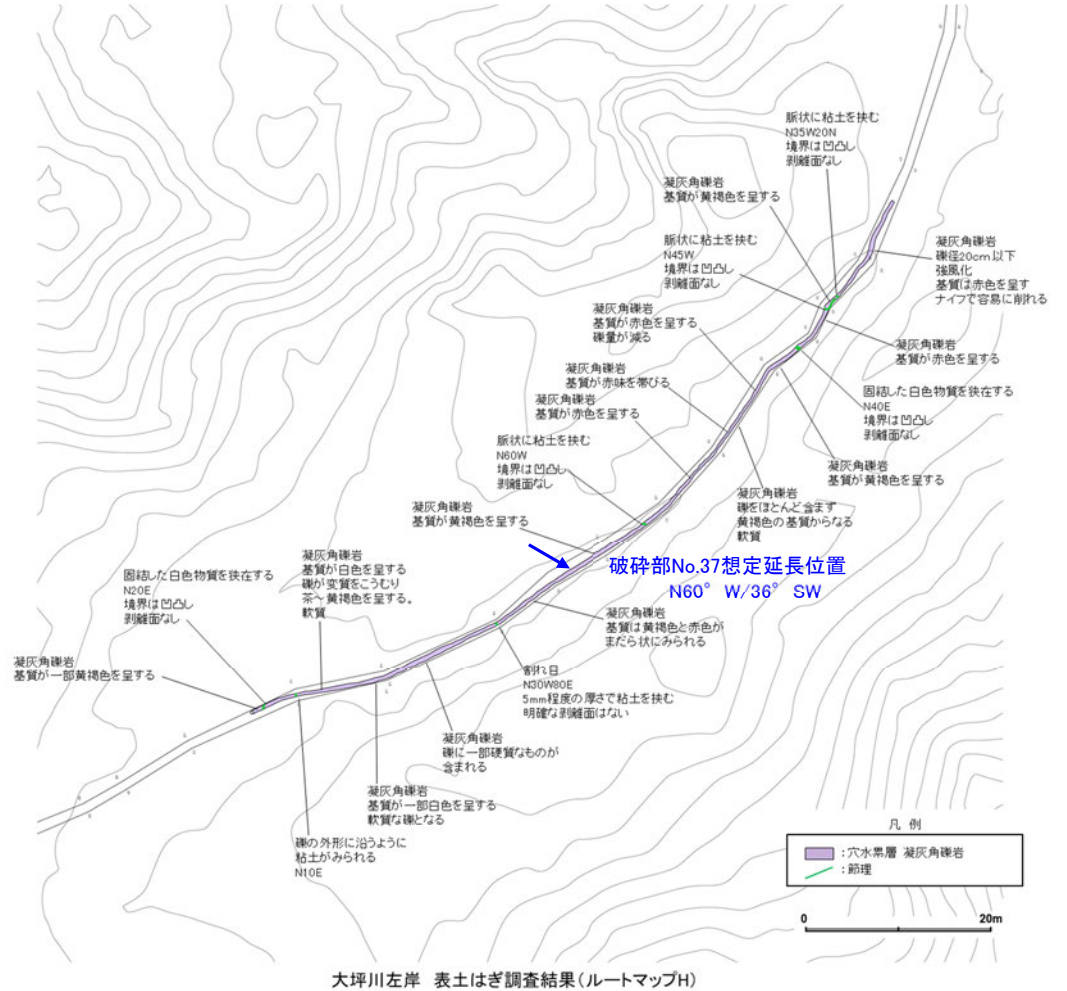
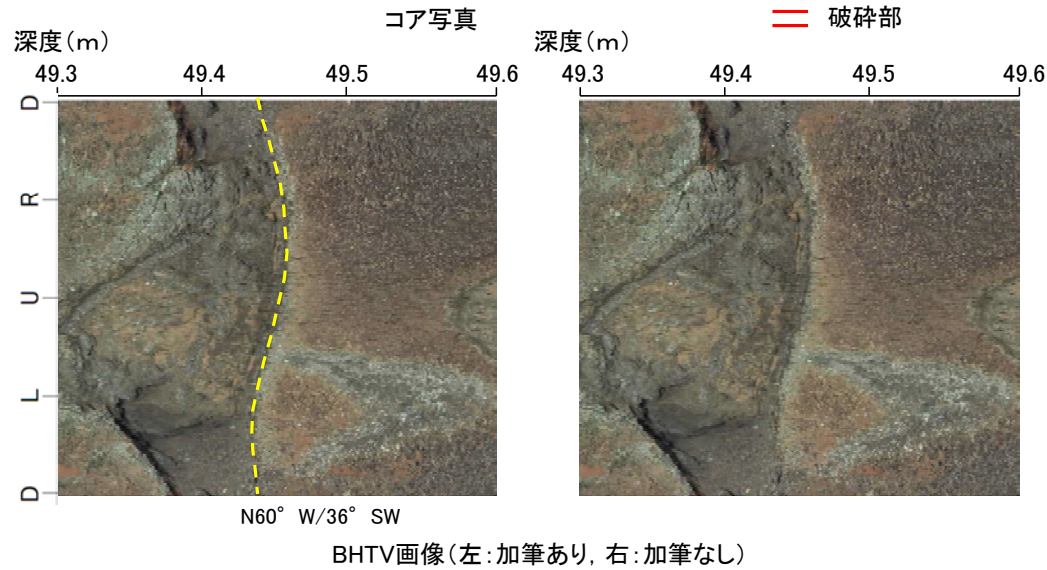
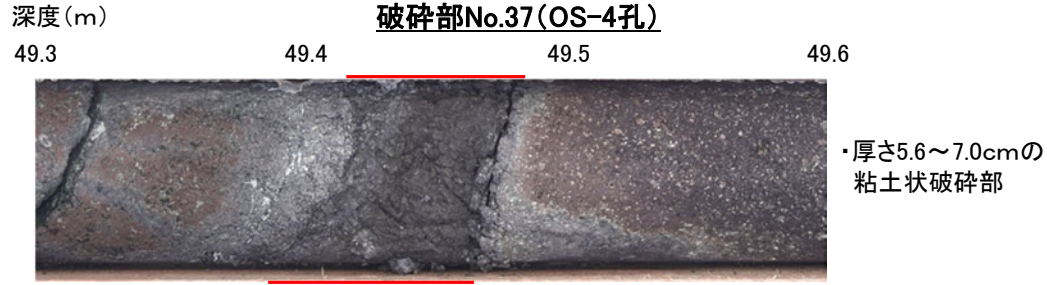
BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)



破碎部No.35は、走向・傾斜が福浦断層と異なり、隣接孔(OS-2孔)の想定延長範囲(63.7~100.0m)に対応する破碎部が認められない。

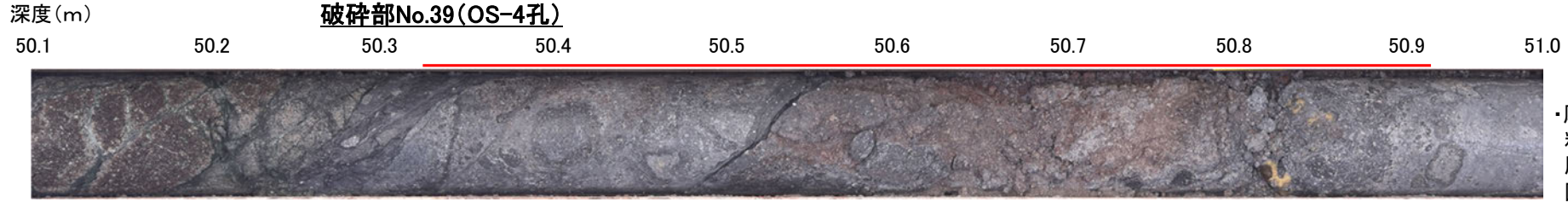
破碎部No.36は、走向・傾斜が福浦断層と異なり、隣接孔(OS-3' 孔)の想定延長範囲(34.1~57.9m)に対応する破碎部が認められない。

## 【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-4孔) (7/24)】

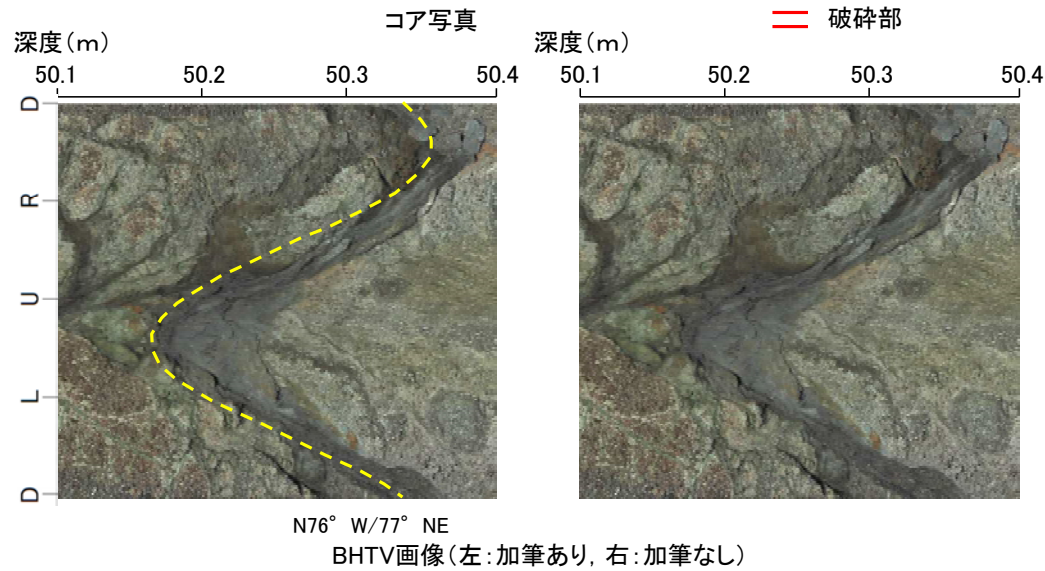


走向・傾斜が福浦断層と異なり、ルートマップHの想定延長位置に対応する破碎部が認められない。

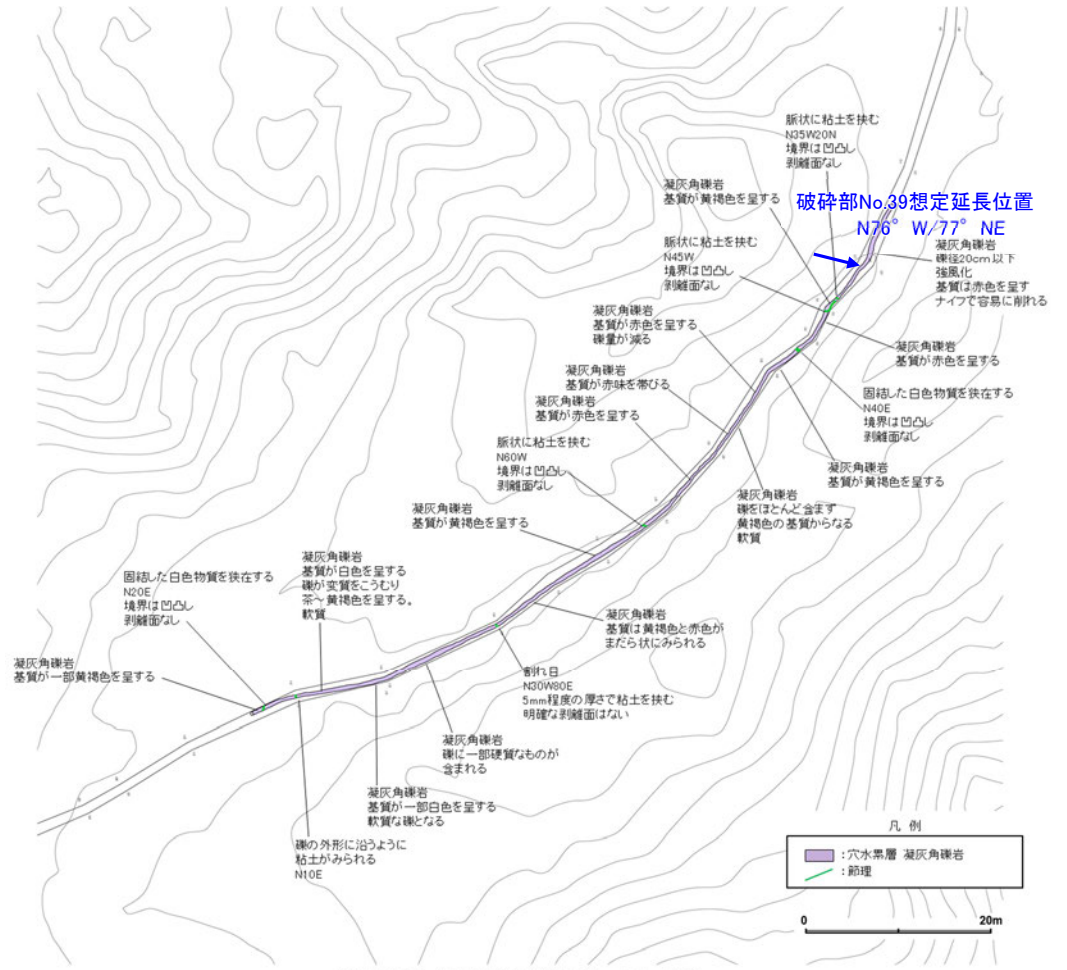
# 【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-4孔) (8/24)】



・厚さ2.2~3.4cmの粘土状破碎部及び厚さ27~30cmの固結した破碎部

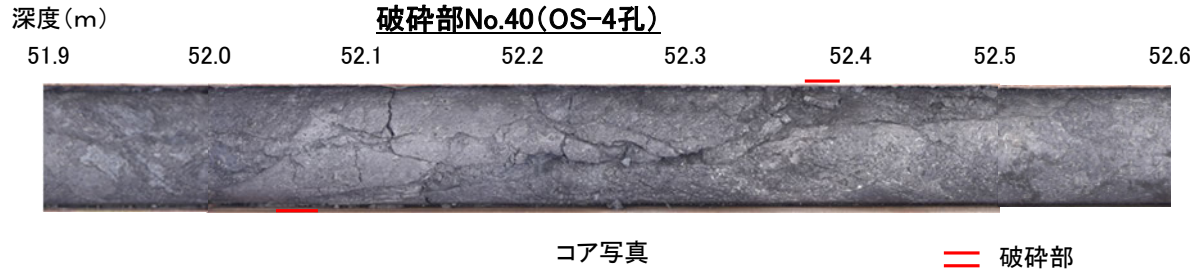


走向・傾斜が福浦断層と異なり、ルートマップHの想定延長位置に対応する破碎部が認められない。

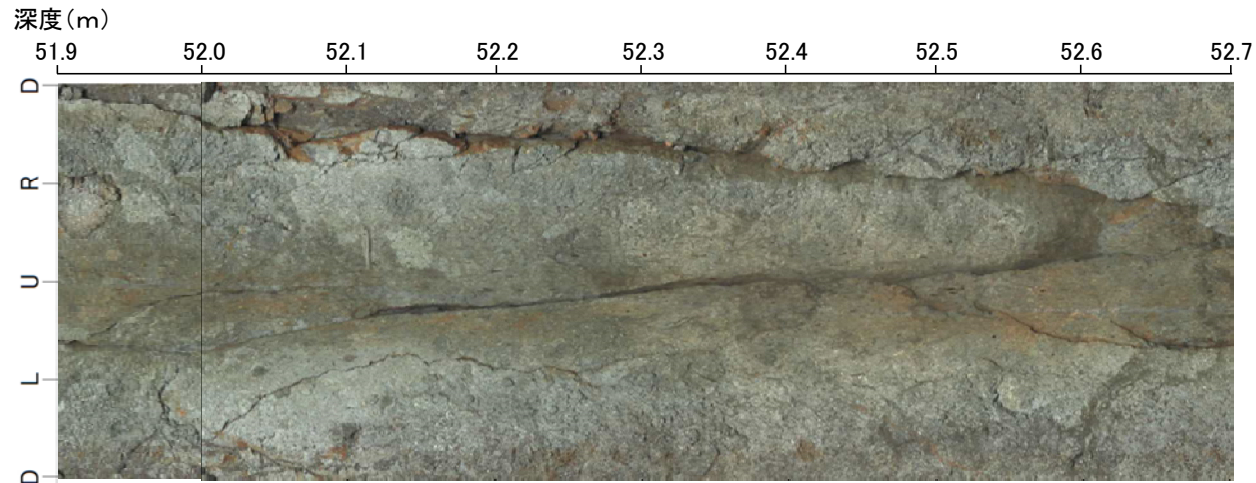
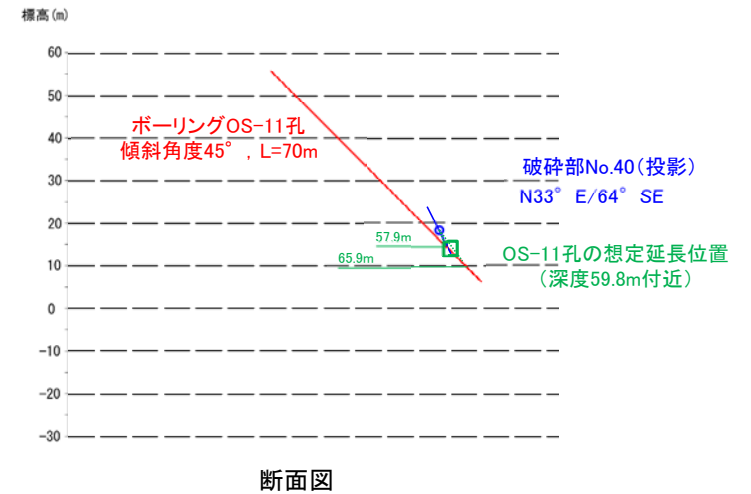
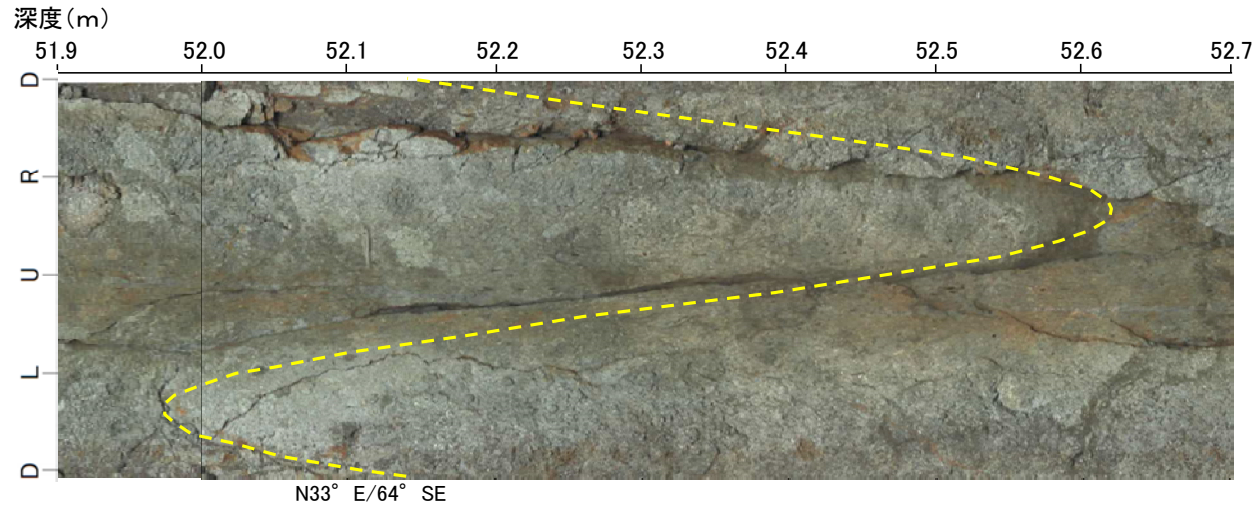


大坪川左岸 表土はぎ調査結果(ルートマップH)

## 【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-4孔) (9/24)】



・厚さ0.2~1.2cmの  
角礫状破碎部



走向・傾斜が福浦断層と異なり、隣接孔(OS-11孔)の想定延長範囲(57.9~65.9m)に対応する破碎部が認められない。

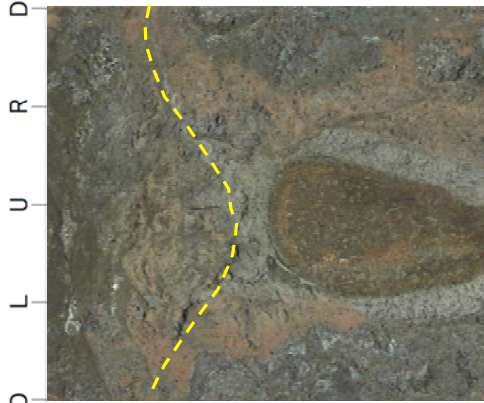
# 【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-4孔) (10/24)】

深度(m) **破碎部No.41(OS-4孔)**  
 58.6 58.7 58.8 58.9



・厚さ10~16cmの砂状破碎部

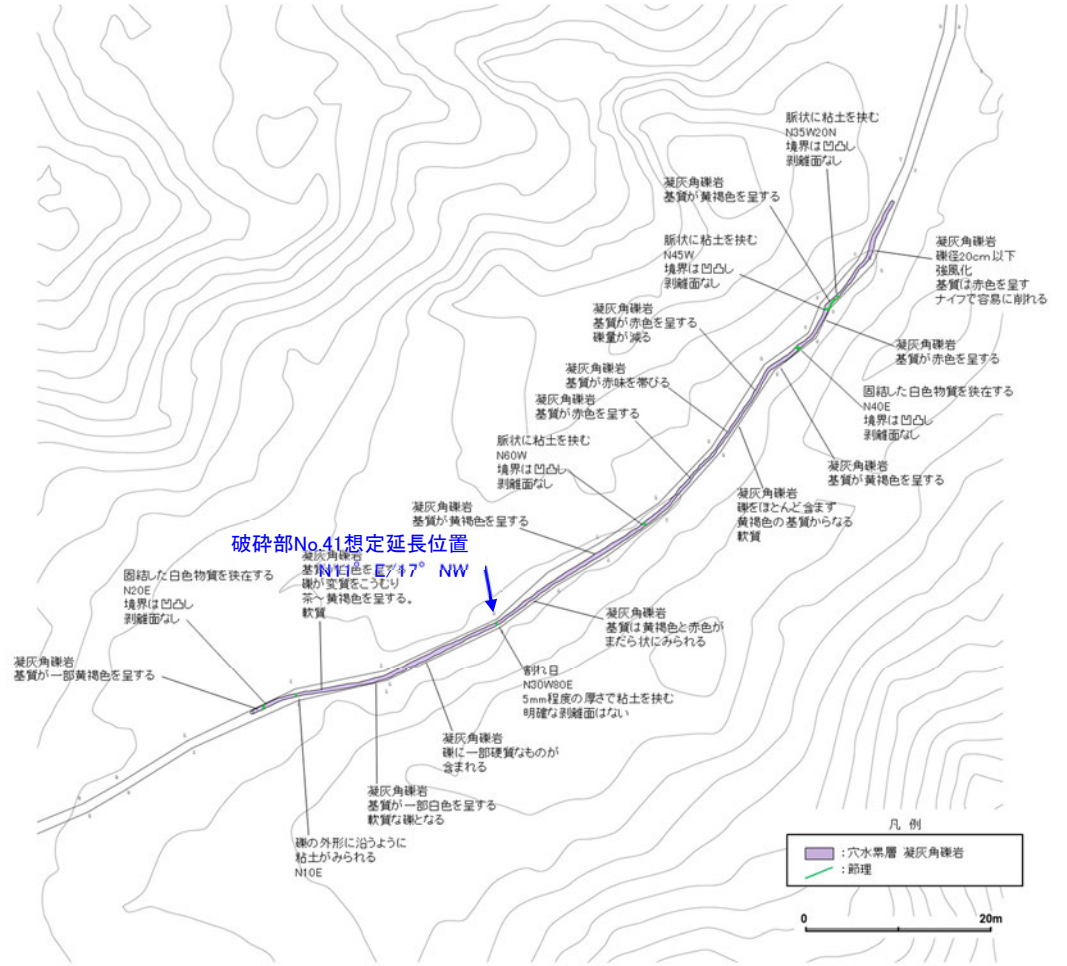
深度(m) コア写真 深度(m) 破碎部  
 58.6 58.7 58.8 58.9 58.6 58.7 58.8 58.9



N11° E/17° NW



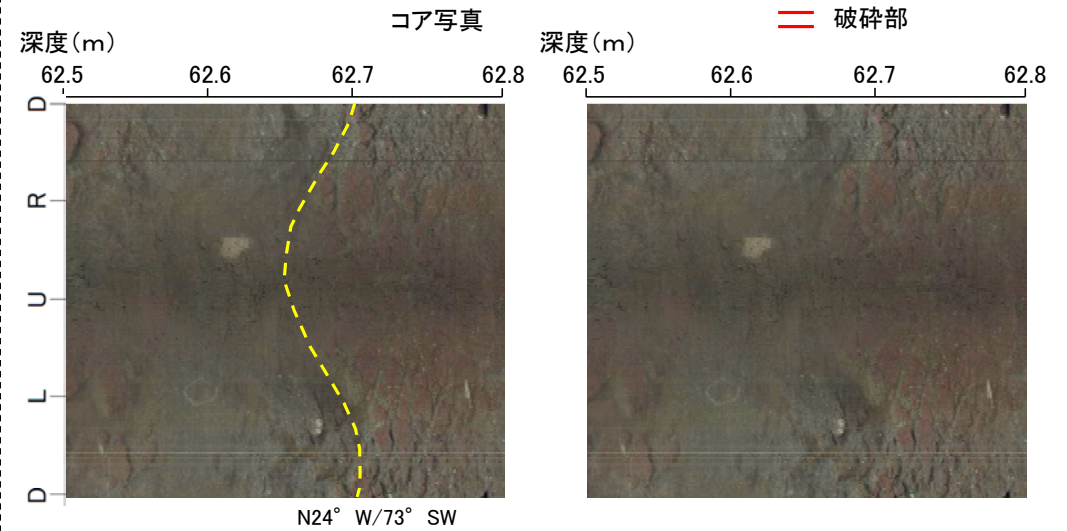
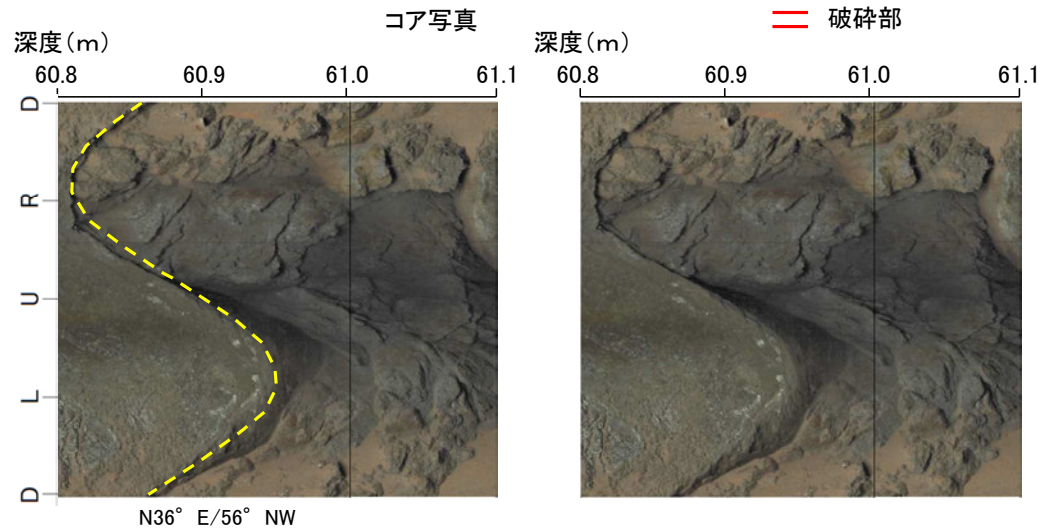
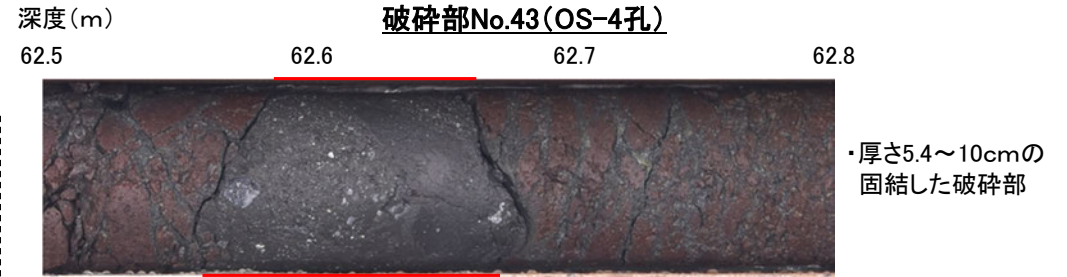
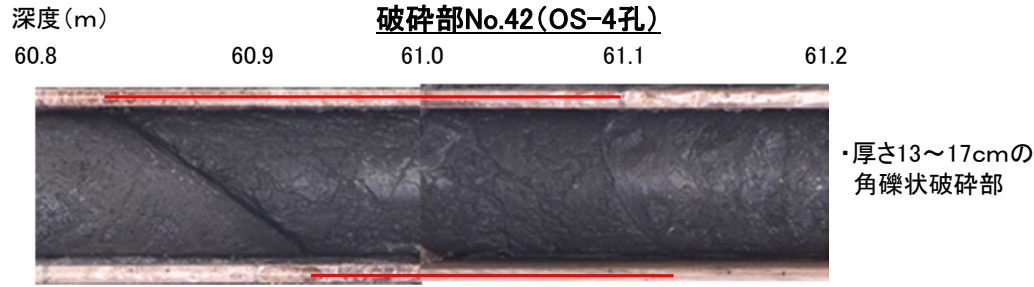
BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)



走向・傾斜が福浦断層と異なり、ルートマップHの想定延長位置に対応する破碎部が認められない。

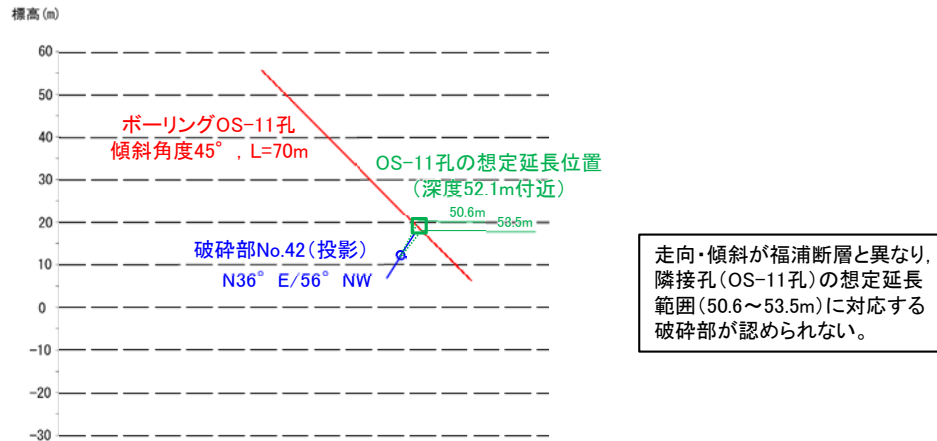


# 【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-4孔) (11/24)】

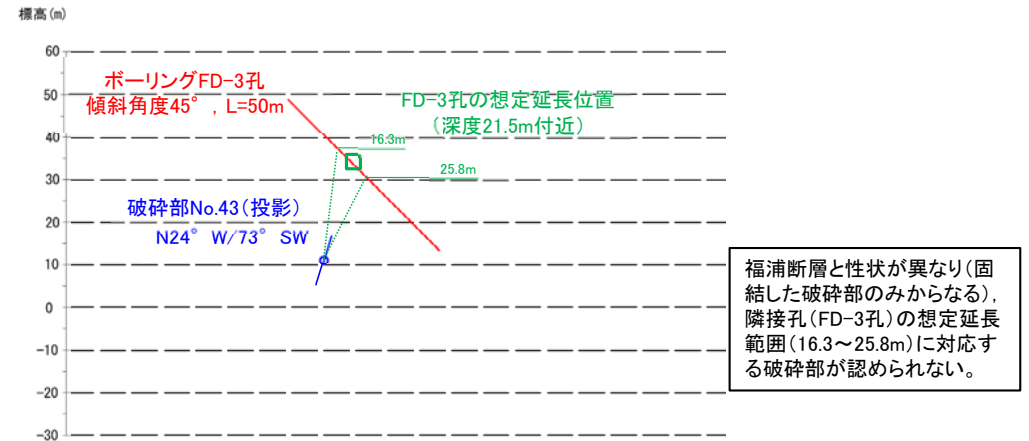


BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)

BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)



断面図



断面図

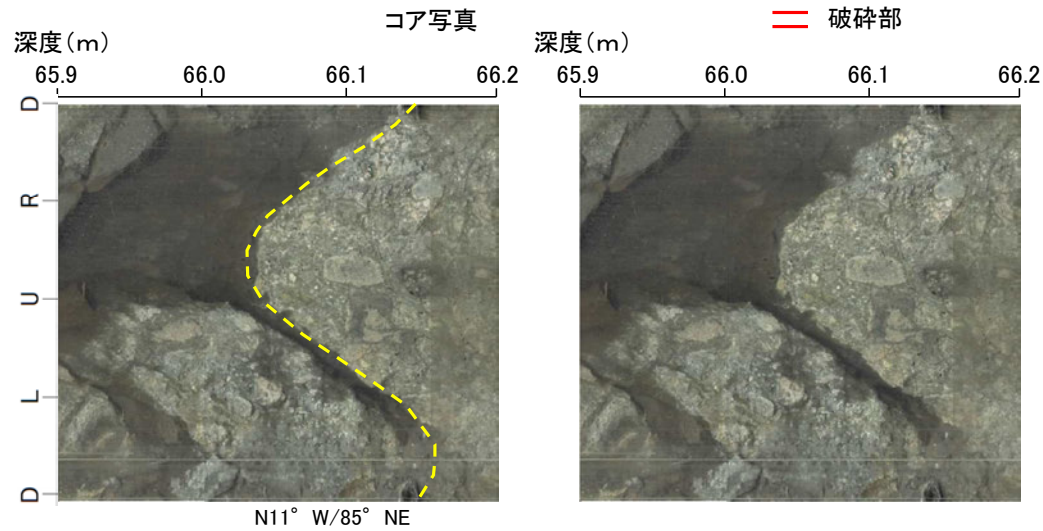
## 【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-4孔) (12/24)】

深度(m) **破碎部No.49(OS-4孔)**

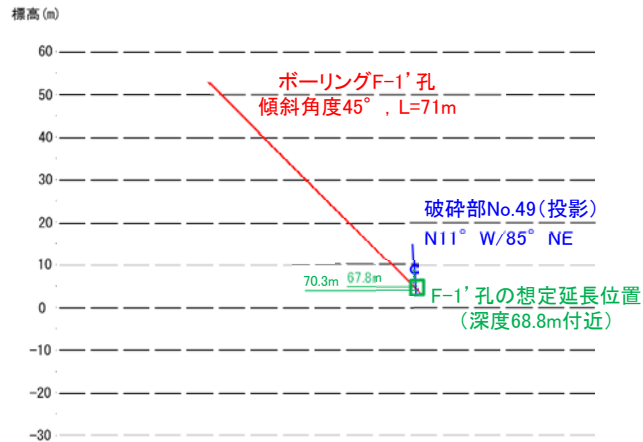
65.5                      65.6                      65.7                      65.8                      65.9                      66.0                      66.1                      66.2



・厚さ0.1~0.4cmの暗灰色の粘土状破碎部  
及び厚さ6.5~10cmの暗灰から黒色の粘土  
状破碎部及び厚さ14~23cmの固結した破  
碎部

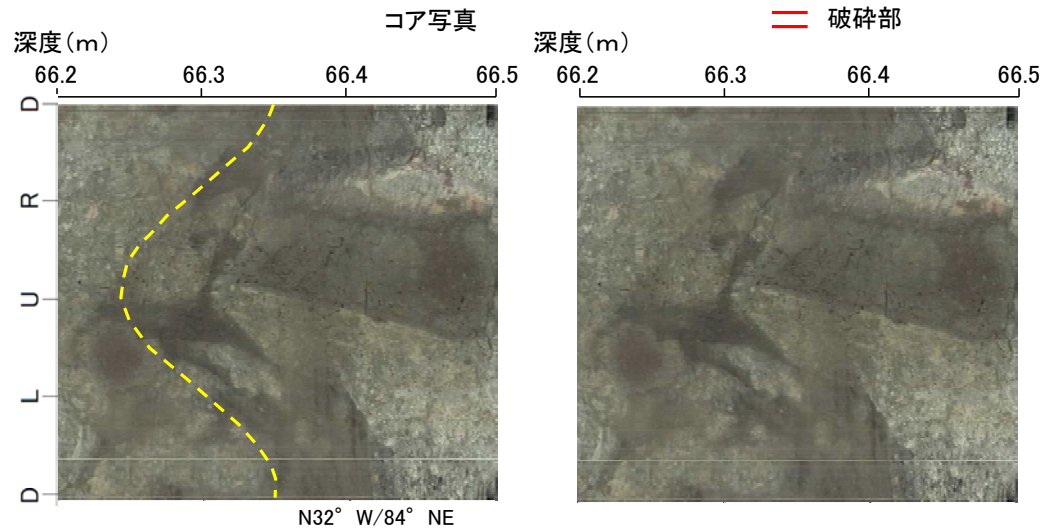


BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)

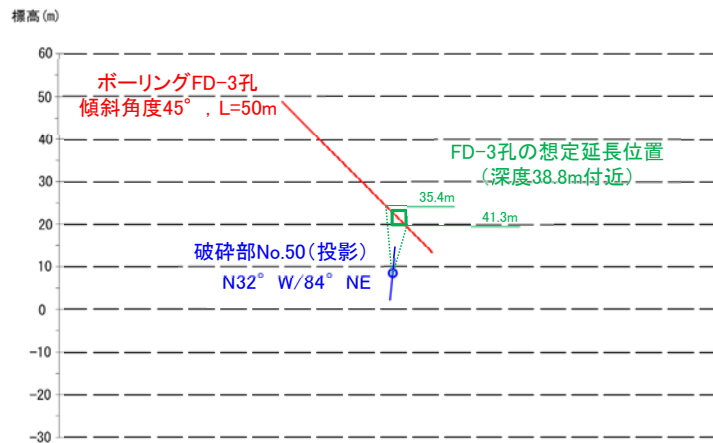


走向・傾斜が福浦断層と異なり、隣接孔(F-1' 孔)の想定延長範囲(67.8~70.3m)に対応する破碎部が認められない。

## 【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-4孔) (13/24)】



BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)



走向・傾斜が福浦断層と異なり、隣接孔(FD-3孔)の想定延長範囲(35.4~41.3m)に対応する破碎部が認められない。

断面図

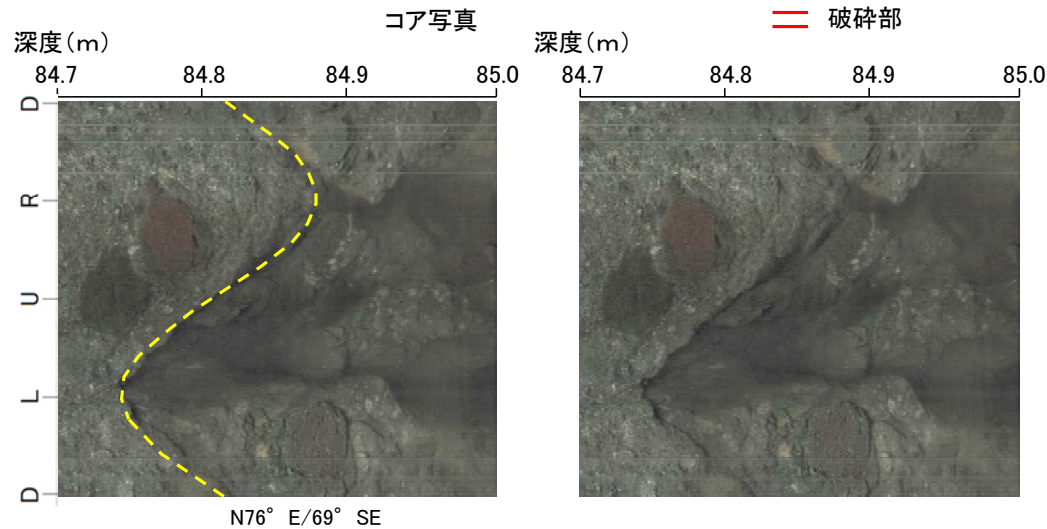
## 【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-4孔) (14/24)】

深度(m) **破碎部No.52(OS-4孔)**

84.3 84.4 84.5 84.6 84.7 84.8 84.9 85.0 85.1 85.2

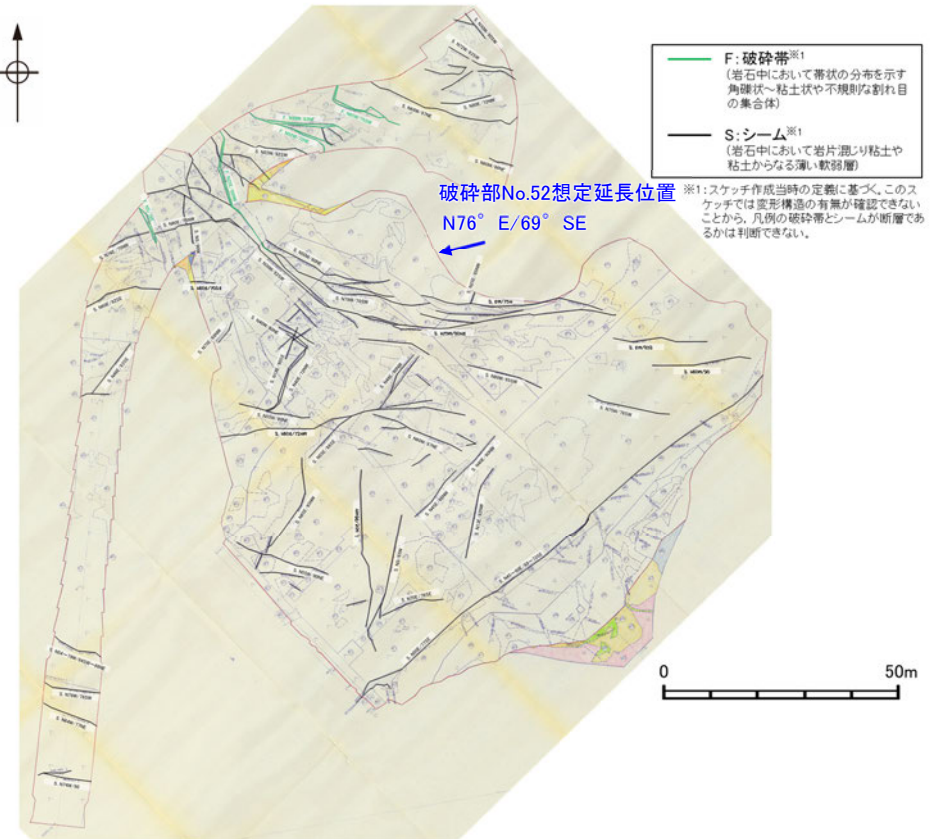


・厚さ1.8~2.6cmの暗灰色の角礫状破碎部及び  
厚さ9.0cmの暗灰~黒色の角礫状破碎部及び  
26~28cmの固結した破碎部



N76° E/69° SE

BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)



走向・傾斜が福浦断層と異なり、大坪川ダム基礎掘削面の想定延長位置に対応する破碎部が認められない。

大坪川ダム基礎掘削面スケッチ

## 【福浦断層以外の破砕部の連続性確認(OS-4孔) (15/24)】

深度(m)

**破砕部No.53(OS-4孔)**

85.1                      85.2                      85.3                      85.4                      85.5                      85.6



・厚さ3.4~12cmの  
砂状破砕部

コア写真

== 破砕部

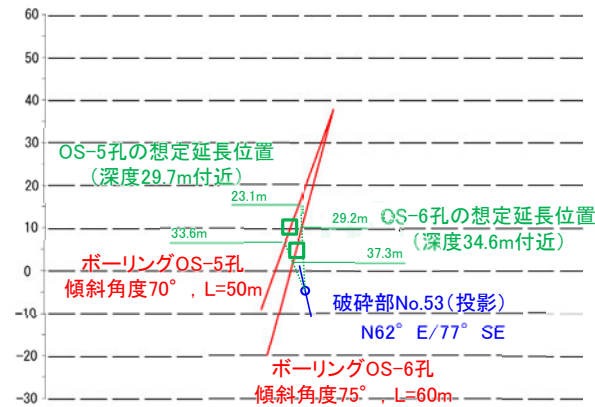
深度(m)

84.9                      85.0                      85.1                      85.2                      85.3                      85.4



N62° E/77° SE

標高(m)



断面図

走向・傾斜が福浦断層と異なり、隣接孔(OS-6孔、OS-5孔)の想定延長範囲(29.2~37.3m、23.1~33.6m)に対応する破砕部が認められない。

深度(m)

84.9                      85.0                      85.1                      85.2                      85.3                      85.4



BHTV画像(上:加筆あり, 下:加筆なし)

# 【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-4孔) (16/24)】

深度(m) **破碎部No.55(OS-4孔)**  
 86.6 86.7 86.8 86.9 87.0 87.1

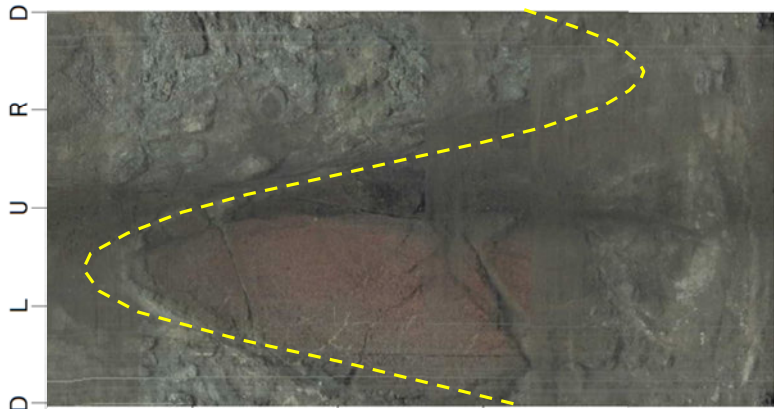


コア写真

== 破碎部

・厚さ0.2~1.9cmの粘土状破碎部及び  
 厚さ3.3~4.4cmの固結した破碎部

深度(m)  
 86.6 86.7 86.8 86.9 87.0 87.1

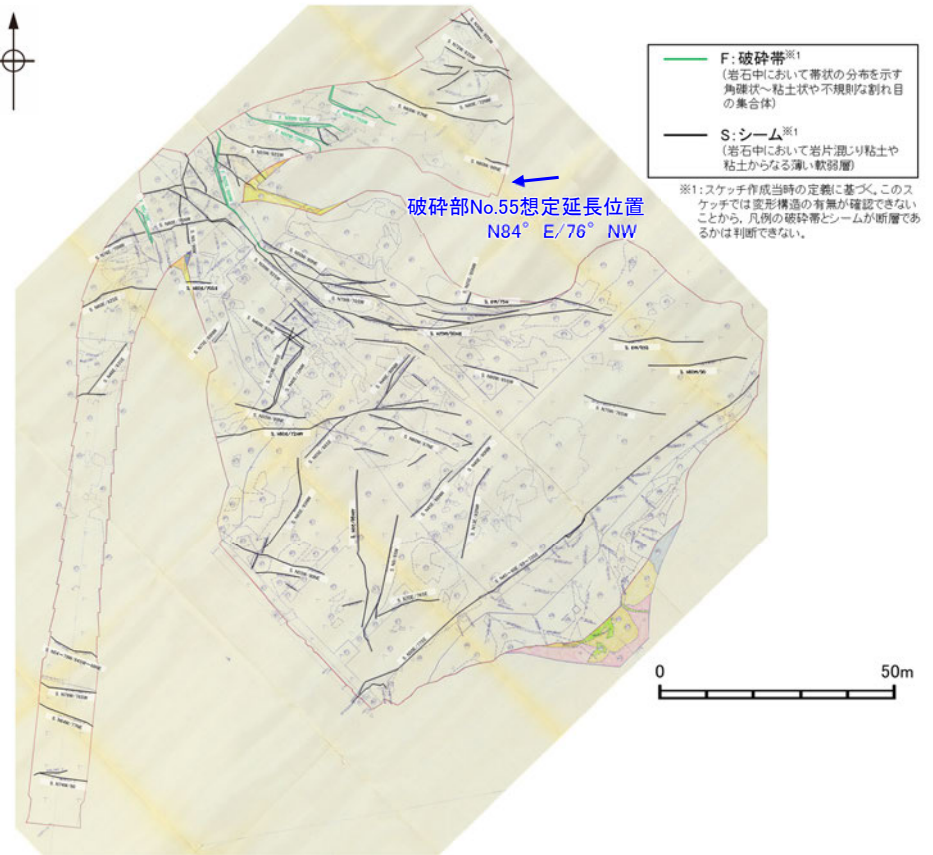


N84° E/76° NW

深度(m)  
 86.6 86.7 86.8 86.9 87.0 87.1



BHTV画像(上:加筆あり,下:加筆なし)



**F: 破碎帯**※1  
 (岩石中において帯状の分布を示す角礫状~粘土状や不規則な割れ目の集合体)  
**S: シーム**※1  
 (岩石中において岩片潤り粘土や粘土からなる薄い軟弱層)

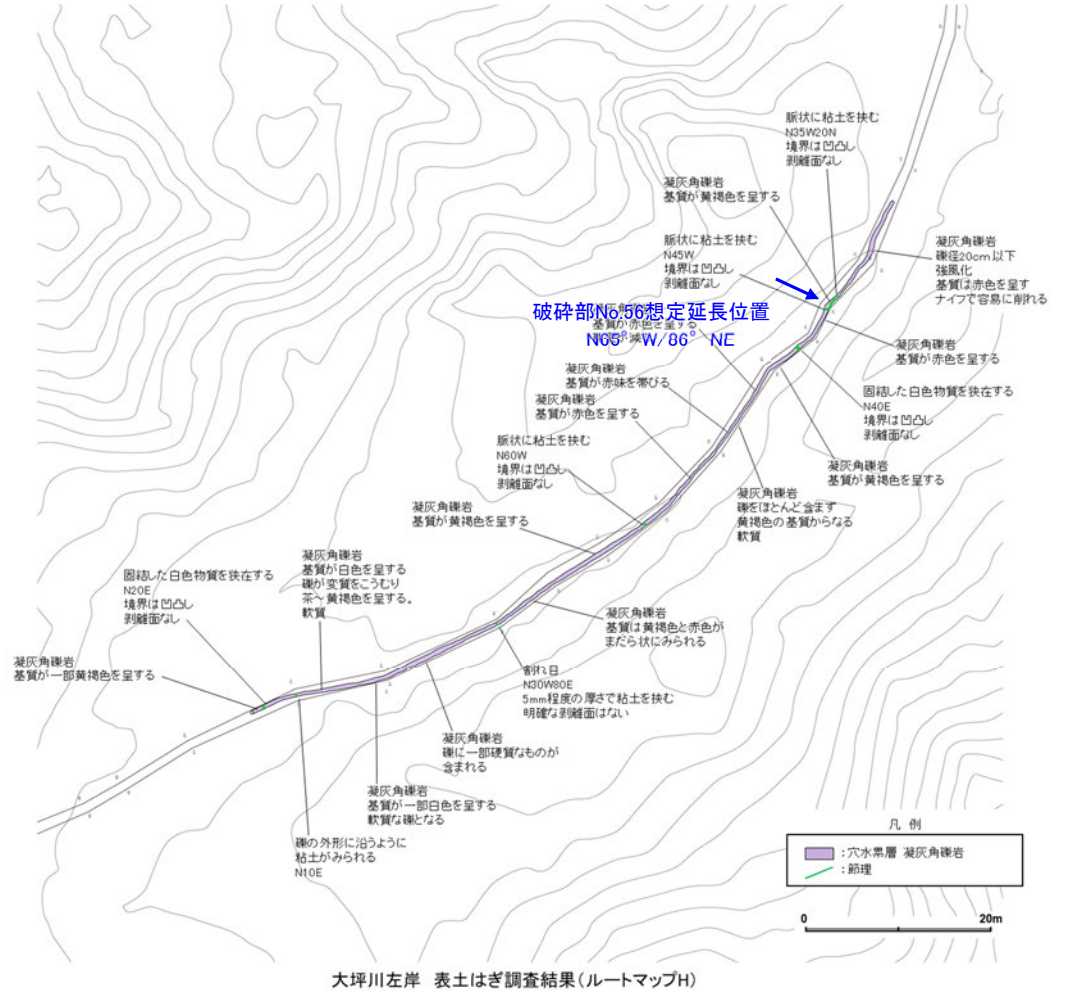
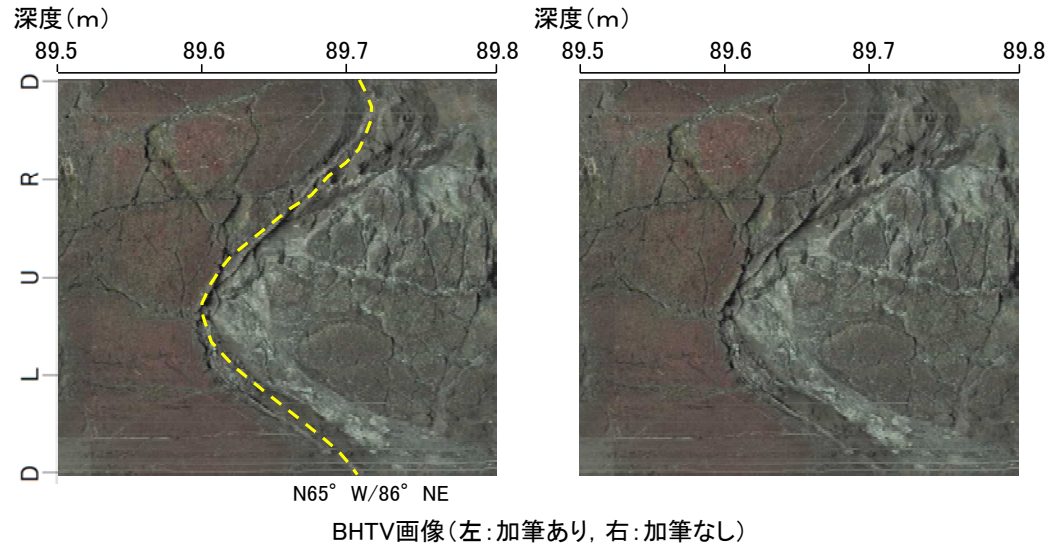
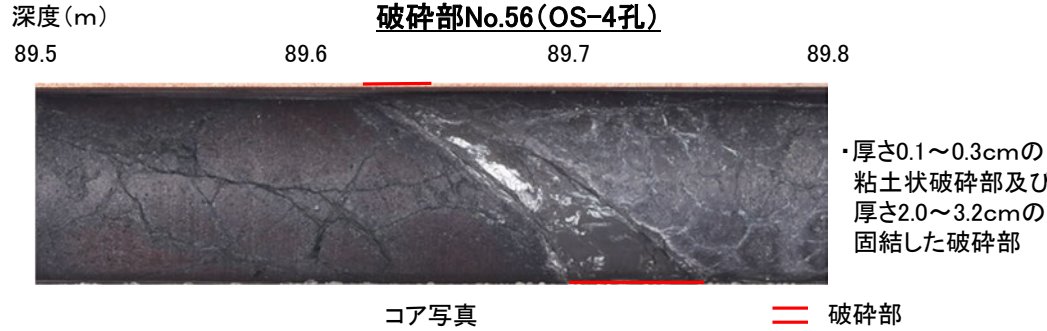
※1: スケッチ作成当時の定義に基づき、このスケッチでは変形構造の有無が確認できないことから、凡例の破碎帯とシームが断層であるかは判断できない。

0 50m

大坪川ダム基礎掘削面スケッチ

走向・傾斜が福浦断層と異なり、大坪川ダム基礎掘削面の想定延長位置に対応する破碎部が認められない。

# 【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-4孔) (17/24)】



走向・傾斜が福浦断層と異なり、ルートマップHの想定延長位置に対応する破碎部が認められない。

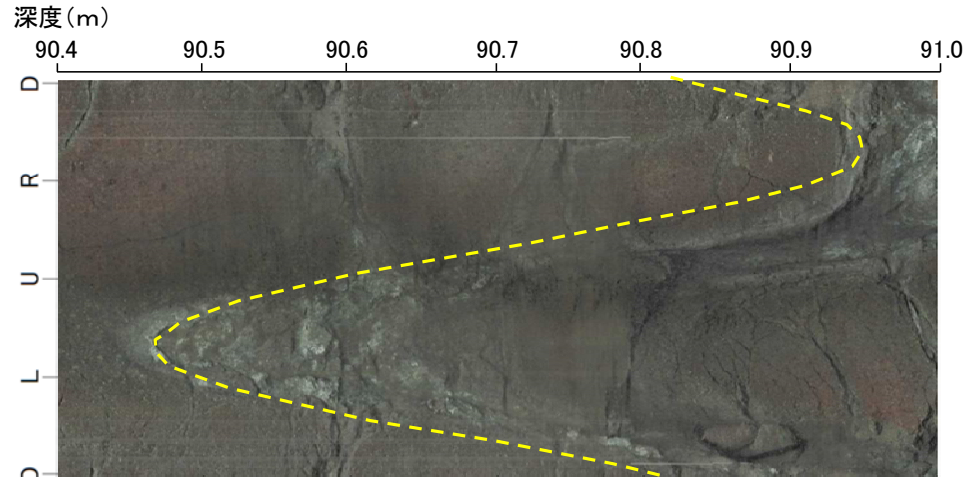
# 【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-4孔) (18/24)】



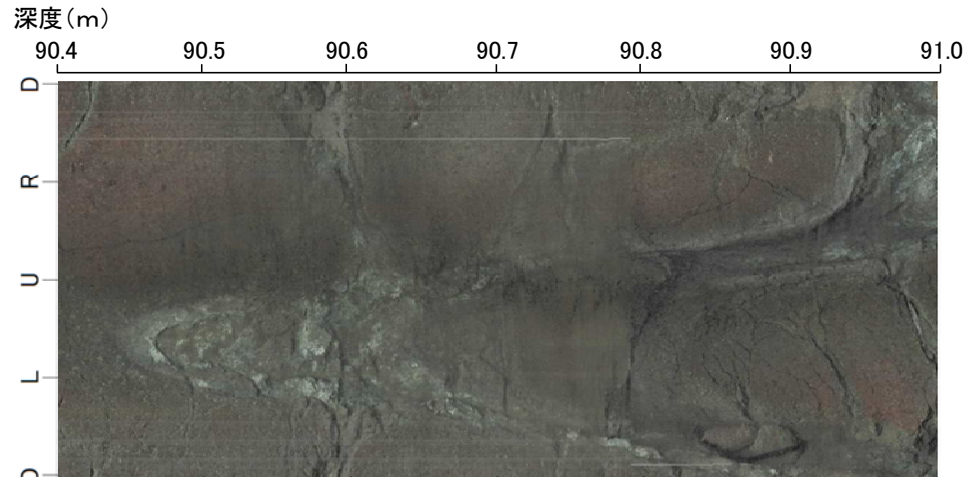
コア写真

== 破碎部

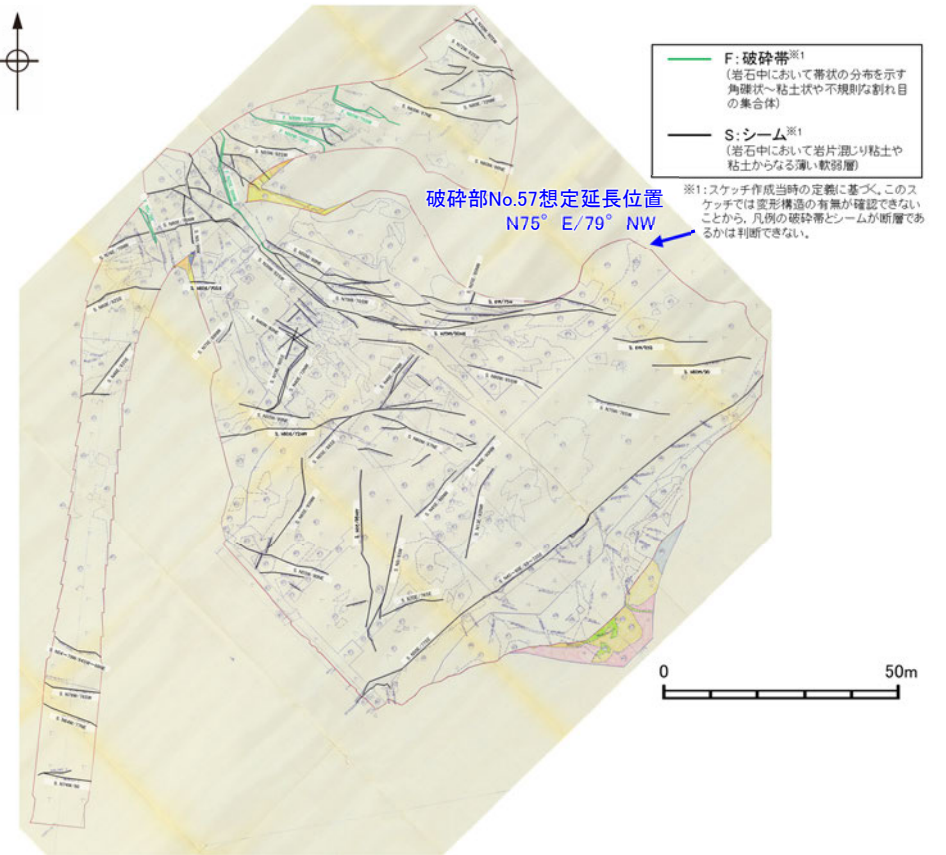
・厚さ0.3~0.8cmの粘土状破碎部及び  
厚さ5.4~5.9cmの固結した破碎部



N75° E/79° NW



BHTV画像(上:加筆あり,下:加筆なし)

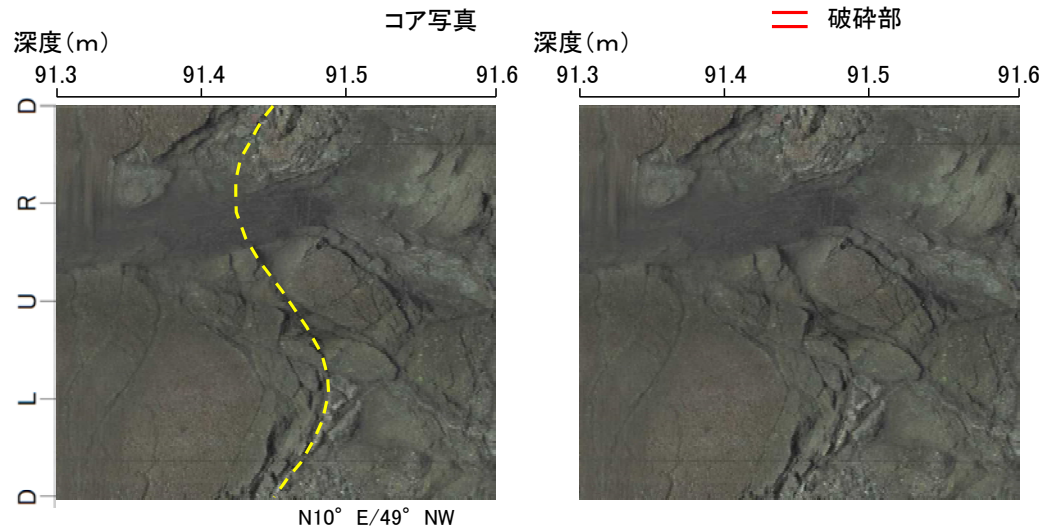
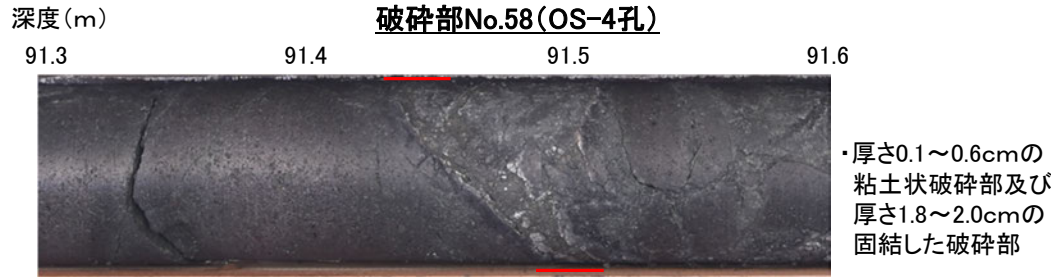


走向・傾斜が福浦断層と異なり、大坪川ダム基礎掘削面の想定延長位置に対応する破碎部が認められない。

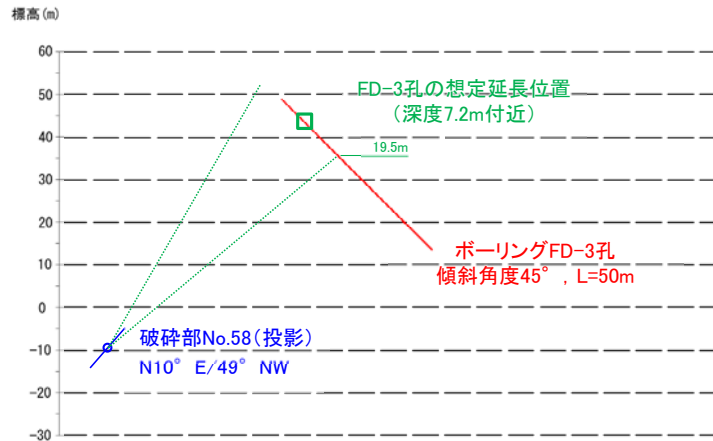
大坪川ダム基礎掘削面スケッチ



## 【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-4孔) (19/24)】



BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)



走向・傾斜が福浦断層と異なり、隣接孔(FD-3孔)の想定延長位置(0.0~19.5m)に対応する破碎部が認められない。

断面図

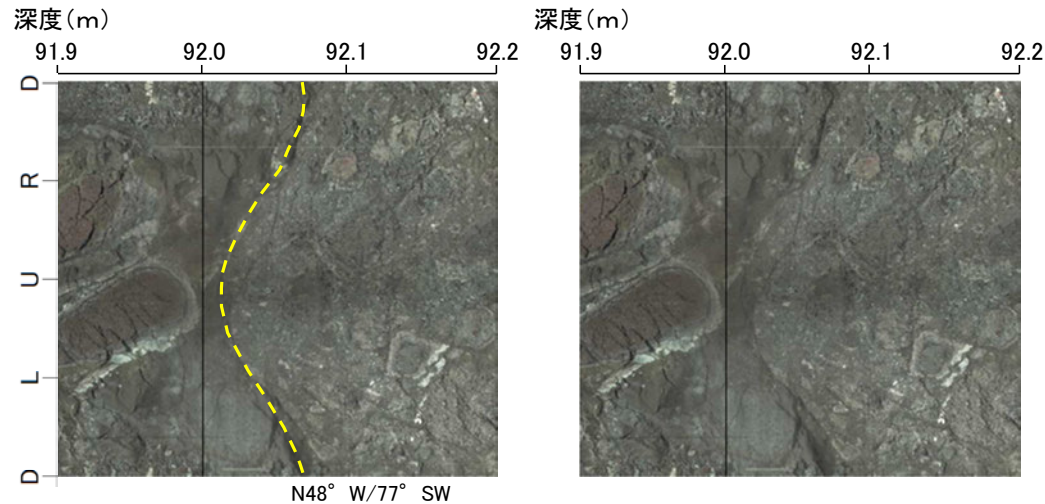
# 【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-4孔) (20/24)】



・厚さ3.8~6.9cmの角礫状破碎部及び  
厚さ0.2~1.0cmの粘土状破碎部及び  
厚さ60~63cmの固結した破碎部

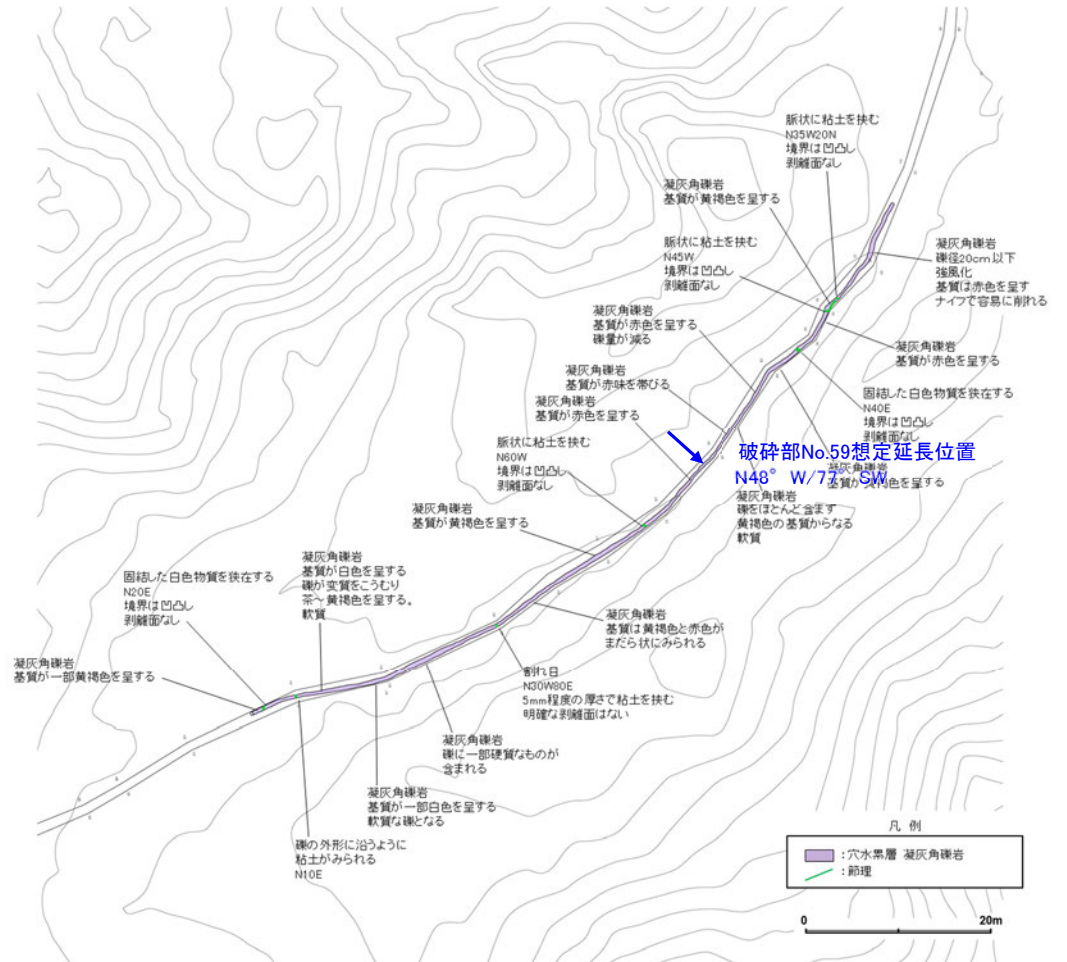


コア写真 = 破碎部



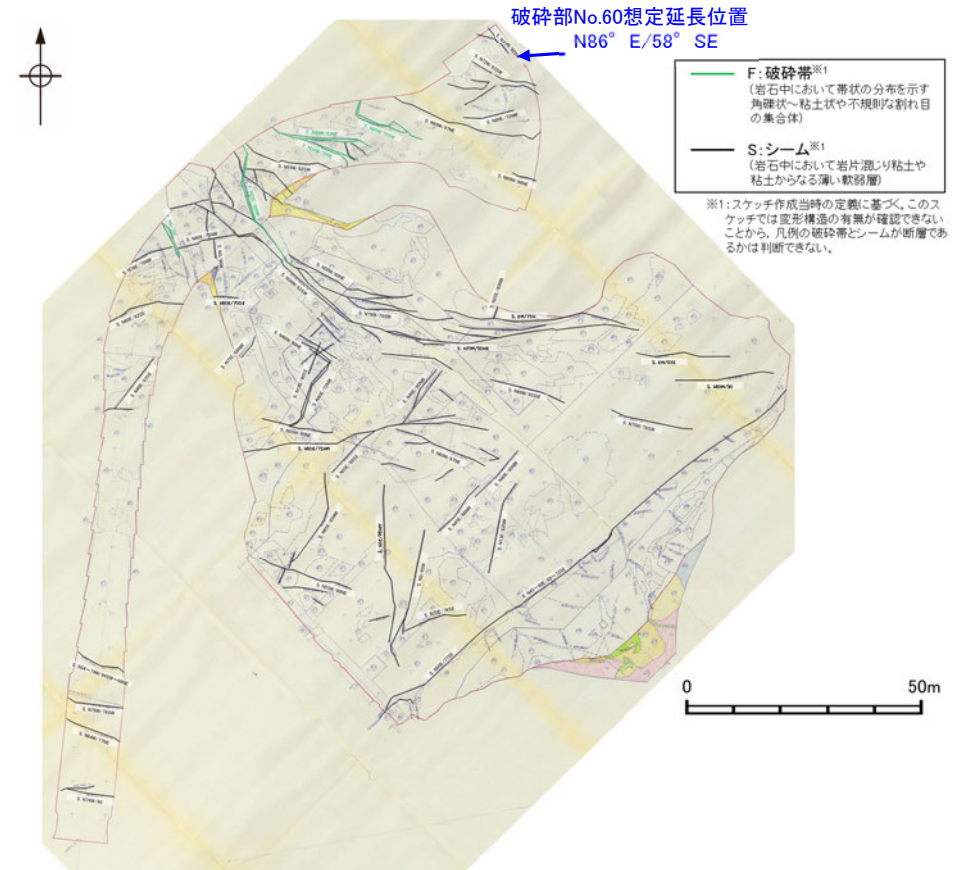
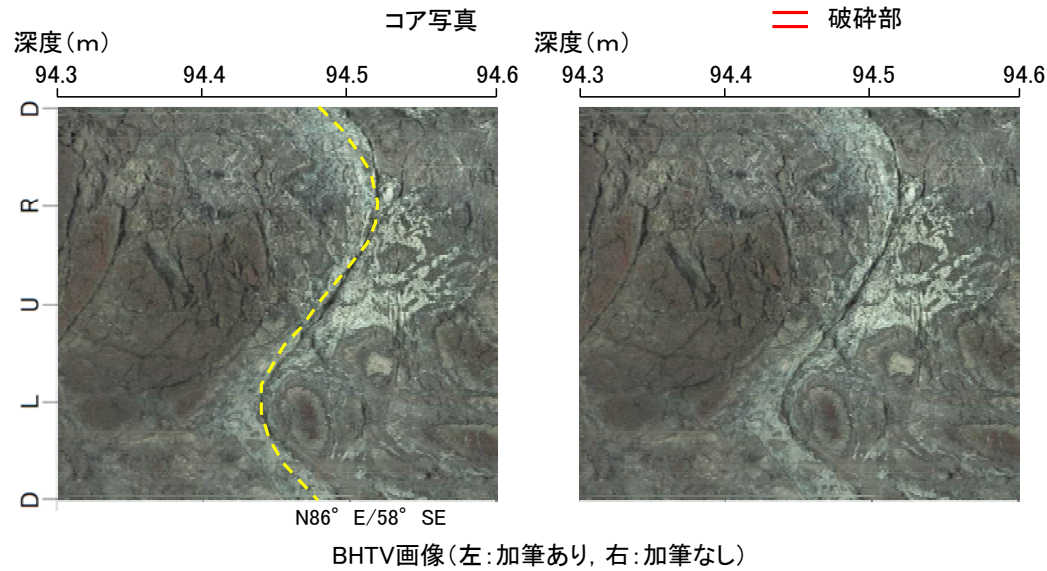
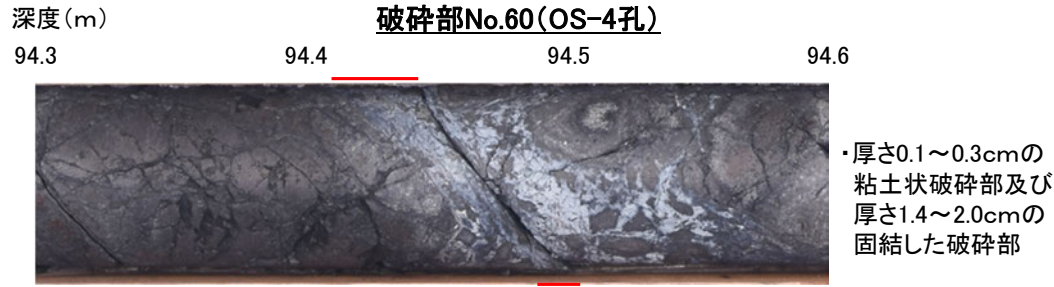
BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)

走向・傾斜が福浦断層と異なり、ルートマップHの想定延長位置に対応する破碎部が認められない。



大坪川左岸 表土はぎ調査結果(ルートマップH)

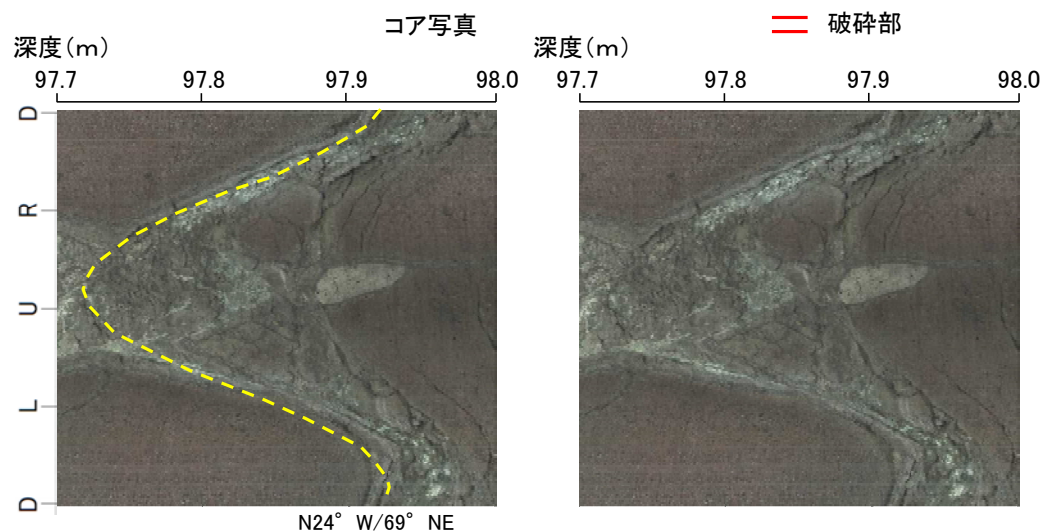
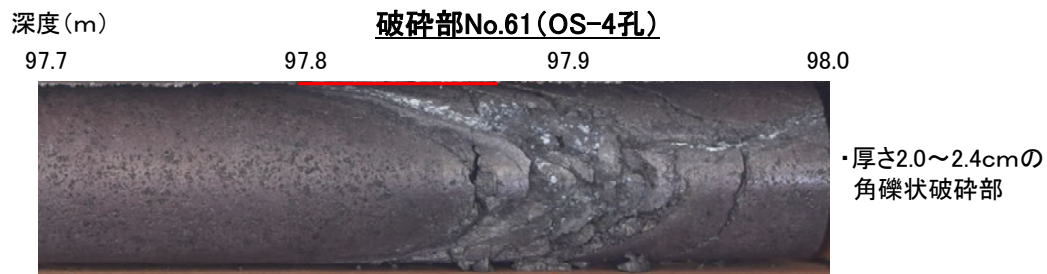
## 【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-4孔) (21/24)】



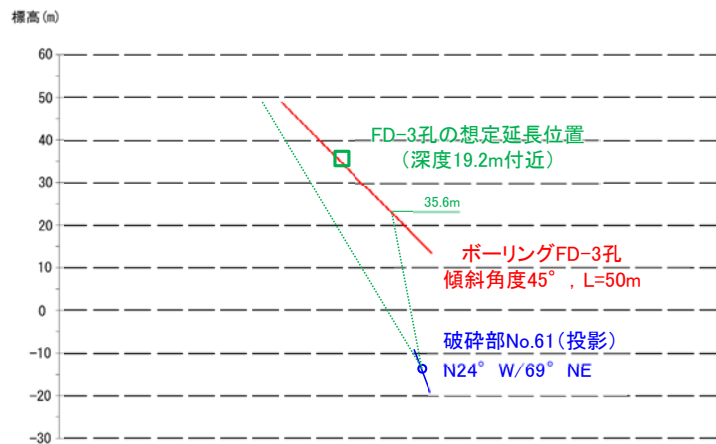
大坪川ダム基礎掘削面スケッチ

走向・傾斜が福浦断層と異なり、大坪川ダム基礎掘削面の想定延長位置に対応する破碎部が認められない。

## 【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-4孔) (22/24)】



BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)



走向・傾斜が福浦断層と異なり、隣接孔(FD-3孔)の想定延長範囲(0.0~35.6m)に対応する破碎部が認められない。

断面図